

足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事(建築工事)

足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事（建築工事） 図面リスト

表紙を含め全 97枚

意匠図				木造棟構造図	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-000	図面リスト	A-038	式場棟 展開図(1)	S-000	木質工事特記仕様書
A-001	特記仕様書(1)	A-039	式場棟 展開図(2)	S-001	木造軸組接合部標準図(1)
A-002	特記仕様書(2)	A-040	式場棟 展開図(3)	S-002	木造軸組接合部標準図(2)
A-003	特記仕様書(3)	A-041	式場棟 展開図(4)	S-003	木造軸組接合部標準図(3)
A-004	特記仕様書(4)	A-042	式場棟 展開図(5)	S-004	木造軸組接合部標準図(3A)
A-005	特記仕様書(5)	A-043	式場棟 展開図(6)	S-005	木造軸組接合部標準図(3B)
A-006	特記仕様書(6)	A-044	式場棟 展開図(7)	S-006	木造軸組接合部標準図(3C)
A-007	特記仕様書(7)	A-045	待合棟2 展開図(1)	S-007	木造軸組接合部標準図(4)
A-008	特記仕様書(8)	A-046	待合棟2 展開図(2)	S-008	木造軸組接合部標準図(5)
A-009	特記仕様書(9)	A-047	待合棟2 展開図(3)	S-009	木造軸組接合部標準図(6)
A-010	配置図	A-048	待合棟2 展開図(4)	S-010	木造仕様書補足事項1
A-011	附近見取図・敷地求積図	A-049	待合棟2 展開図(5)	S-011	木造仕様書補足事項2
A-012	建築面積・延床面積求積図	A-050	待合棟2 展開図(6)	S-012	RC配筋標準図1
A-013	1階室面積求積図	A-051	1階天井伏図	S-013	RC配筋標準図2
A-014	法チェック図	A-052	2階天井伏図	S-014	式場棟基礎伏図、土台伏図
A-015	式場棟 外部仕上表	A-053	1階建具配置図	S-015	式場棟基準桁梁伏図、耐力壁接合金物伏図
A-016	式場棟 内部仕上表(1)	A-054	2階建具配置図	S-016	式場棟基準+2000桁梁、+3100桁梁伏図
A-017	式場棟 内部仕上表(2)	A-055	式場棟 建具表(1)	S-017	式場棟Y方向軸組図
A-018	待合棟2 外部仕上表	A-056	式場棟 建具表(2)	S-018	式場棟X方向軸組図
A-019	待合棟2 内部仕上表	A-057	式場棟 建具表(3)	S-019	式場棟f1, f2, f3ルーバー接合部詳細図
A-020	1階平面図	A-058	待合棟2 建具表(1)	S-020	待合棟基礎伏図、土台伏図
A-021	2階平面図	A-059	待合棟2 建具表(2)	S-021	待合棟耐力壁接合金物図、基準桁梁伏図
A-022	屋根伏図	A-060	部分詳細図(1)	S-022	待合棟基準桁梁伏図
A-023	立面図(1)	A-061	部分詳細図(2)	S-023	待合棟Y方向軸組図
A-024	立面図(2)	A-062	部分詳細図(3)	S-024	待合棟X方向軸組図
A-025	立面図(3)	A-063	部分詳細図(4)	S-025	式場棟待合棟Sコラム特記仕様書
A-026	立面図(4)	A-064	部分詳細図(5)	S-026	式場棟待合棟Sコラム配置図
A-027	断面図(1)	A-065	部分詳細図(6)		
A-028	断面図(2)	A-066	アルミルーバー詳細図(1)		
A-029	断面図(3)	A-067	アルミルーバー詳細図(2)		
A-030	断面図(4)	A-068	アルミルーバー詳細図(3)		
A-031	断面詳細図(1)【式場】	A-069	アルミルーバー詳細図(4)		
A-032	断面詳細図(2)【式場吐-南北断面】	A-070	木造部ルーバー詳細図		
A-033	断面詳細図(3)【式場吐-東西断面】	A-071	家具図		
A-034	断面詳細図(4)【待合吐-2】	A-072	サイン計画図(1) (配置図)		
A-035	平面詳細図(1)【式場棟】	A-073	サイン計画図(2)		
A-036	平面詳細図(2)【待合棟木造1】	A-074	サイン計画図(3)		
A-037	平面詳細図(3)【待合棟木造2】				

工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事（建築工事）	
図面名/縮尺	図面リスト1	図面番号
設計年月日	令和 4年 1月31日	A-000
設計者	一級建築士（第273244号） 甲斐 雅人	
発注者	足利市都市建設部建築住宅課	





#### ○4-3 防風措置 (4.2.4)

基礎外周部の換気孔

- ◎ねこ土台 材質等 (・防鼠スクリーン ・防虫網)
- ・換気孔 材質等 (・防鼠スクリーン ・防虫網)

小屋裏換気

- 木造標仕4.2.4(3) ・(a) ◎ (b) ・(c) ◎ (d) ・(e)
- 換気孔の大きさ ・図示 ・

#### ○4-4 耐火処理 (4.3.1~3)

防火被覆

- 防火被覆材の材料 ◎ 図示 ・
- 防火被覆材の厚さ ◎ 図示 ・
- 接合部等の防火被覆処理 ・ 図示 ・

燃えしろ層

- 燃えしろ層の厚さ ・ 図示 ・
- 接合部等の防火被覆処理 ・ 図示 ・

不燃処理木材等 ◎ 図示 ・

### 5章 軸組構法 (壁構造系) 工事

#### ・5-1 木材の品質 [G] (5.1.2)

◎木造標仕5.1.2による

#### ○5-2 製材 [G] (5.2.2)

JAS 1083-3 (製材 - 第3部: 目視等級区分構造用製材) による目視等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	構造材の種類	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
-	-	-	・構造材Ⅰ・甲種 ・構造材Ⅱ・乙種	・1級 ・2級 ・3級	・SD15 ・SD20	・

JAS 1083-4 (製材 - 第4部: 機械等級区分構造用製材) による機械等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能等級	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
図示による				・1級 ◎2級 ・3級	・SD15 ◎SD20	・

JAS 1083-6 (製材 - 第6部: 広葉樹製材) による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
-	-	-	・特級・1級 ・2級	・D10 ・D13	・

加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。(対象部材)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
-	-	-	・無節 ・小節 ・上小節	・15 ・20	・

加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。(対象部材)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	区分	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	等級区分
-	-	-	・甲種構造材 ・乙種構造材		・15 ・20	・目視等級区分 ・機械等級区分

JAS 1083-5 (製材 - 第5部: 下地用製材) による下地用製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
-	-	-	・1級 ・2級	・D15 ・D20 ・SD15 ・SD20	・

#### ○5-3 集成材 [G] (5.2.2)

「集成材の日本農林規格」による構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	強度等級	材面の品質	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用
図示による				・1種◎2種 ・3種	・A ◎B ・C	・

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	間伐材等の適用
	化粧薄板: 芯材:				・

#### ・5-4 枠組壁工法構造用製材 [G] (5.2.2)

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材) による甲種枠組材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級	

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材) による乙種枠組材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材) によるMSR枠組材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	曲げ応力等級	間伐材等の適用

国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	区分	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用
			・甲種 ・乙種			

#### ・5-5 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 [G] (5.2.2)

JAS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材) による甲種たて継ぎ材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級	

JAS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材) による乙種たて継ぎ材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	

JAS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材) によるMSRたて継ぎ材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	曲げ応力等級	間伐材等の適用

国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式 (mm)	区分	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用
			・甲種 ・乙種			

#### ・5-6 構造用単板積層材 [G] (5.2.2)

JAS 0701 (単板積層材) による構造用単板積層材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	等級	接着性能 (使用環境)	曲げヤング係数区分	間伐材等の適用
				・特級 ・1級 ・2級	・1 ・2		

#### ・5-7 丸太材 [G] (5.2.2)

施工箇所	種別	寸法 (mm)	末口径 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・20	

加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。(対象部材)

#### ・5-8 木質接着成形軸材料等 [G] (5.2.2)

木質接着成形軸材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用

木質複合軸材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用

木質断熱複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用

木質接着複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用

構造用パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用

#### ○5-9 構造用面材 [G] (5.2.3)

構造用MDF

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の材種名	接着の程度	表面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
図示による		・1級 ◎2級		・1類 ◎特類	B-C		2級	

パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用

JAS 0360 (構造用パネル) による構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ (mm)	間伐材等の適用
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級		

ハードファイバーボード

施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	油、樹脂等の特殊処理	難燃性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用

バルブセメント板

施工箇所	厚さ (mm)	種類		備考
		かさ比重による区分	化粧加工の有無	
		・0.9板 ・1.1板	・普通板 ・化粧板	

#### ○5-10 接合金物 (5.2.4)

接合金物 (Z、C、X、D、Sマーク表示金物)

種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他
◎火打金物	図示による	図示による	
◎筋交いプレート			
◎引き寄せ金物			
◎梁受け金物			

Z、C、X、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。

製作接合金物

種類	材質	寸法・形状等	表面処理等
	◎ステンレス製		

#### ○5-11 釘及び木ねじ (5.2.4)

釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材質	その他
◎N釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508
◎CN釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508
◎S釘	◎ステンレス鋼	◎JIS A 5508

木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ

種類	材質	その他
◎パネリードX	◎ステンレス	・JIS B 1112 ・JIS B 1135 ◎試験データがあるもの
・	◎ステンレス	・JIS B 1112 ・JIS B 1135
・		
・		

#### ○5-12 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (5.2.4)

ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (Z、C、X、D、Sマーク表示金物)

種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他
◎アンカーボルト	図示による	
・六角ボルト		

種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他
・座金		

Z、C、X、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。

ボルト及びナット

材料 ◎木造標仕表5.2.2 (JIS 附属書品) による。

- ・木造標仕表5.2.2 (JIS 附属書品) 又はJIS本体規格品 (ISO規格) による。(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト強度区分を4.6又は4.8の組合とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。)

表面処理 ◎溶解亜鉛めっき ◎電気亜鉛めっき ・ 錆止め塗装

ボルト及びアンカーボルトに用いる座金

種類 ・

表面処理 ◎溶解亜鉛めっき ・ 電気亜鉛めっき ・ 錆止め塗装

#### ・5-13 ラグスクリュー (5.2.4)

ラグスクリュー (Z、C、X、D、Sマーク表示金物)

種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他
・ラグスクリュー		

ラグスクリュー

種類	材質	形状・寸法等	表面処理等
・ラグスクリュー	◎木造標仕表5.2.2のボルトによる		

#### ・5-14 ドリフトピン (5.2.4)

種類	材質	形状・寸法等	表面処理等
・ドリフトピン	・SS400		

#### ・5-15 木栓及び木だぼ (5.2.4)

種類	樹種	形状・長さ等	その他
・木栓			
・木だぼ			

#### ・5-16 接着剤 (5.2.4)

- ・床鳴り防止接着剤 (JIS A 5550) 接着剤の種類 ・
- ・接着剤と併用した場合 接着剤の種類 ・
- ・接着剤による接合 接着剤の種類 ・

#### ・5-17 孔あけ加工 (5.4.3)

ドリフトピンの孔径 ◎ピン径と同径 ・

#### ○5-18 表面仕上げ (5.4.4) (表5.4.3~7) (横仕18.12.2)

見え掛りの表面仕上げ

加工方法	種別	その他
◎機械加工	・A種 ◎B種 ・C種	
・手加工	・H-A種 ・H-B種 ・H-C種	

構造用集成材

加工方法	種別	その他

◎機械加工

- ・A種 ◎B種

丸太材

加工方法	種別	その他
・機械加工	・A種 ・B種	
・手加工	・H-A種 ・H-B種	

木材保護塗料塗り

施工箇所 ◎図示

種別 ・A種 ◎B種

#### ○5-19 アンカーボルトの埋込み (5.5.3)

保持及び埋込み工法 ・A種 ◎B種

#### ○5-20 基礎天端均しモルタル仕上げ (5.5.4)

材料 ◎木造標仕5.5.4 (イ) による ・無収縮モルタル

モルタルの厚さ ◎20mm程度 ・

#### ○5-21 建方精度 (5.5.6)

建入れ直し後の建方精度の許容値

◎水平、垂直の許容の範囲1/1,000以下 ・

・6-7 木質接着成形軸材料等 [G] (6.2.2)

木質接着成形軸材料					
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用	
木質複合軸材料					
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用	
木質断熱複合パネル					
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用	
木質接着複合パネル					
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用	

・6-8 構造用面材 [G] (6.2.3)

「合板の日本農林規格」による構造用合板								
施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の材種名	接着の程度	表面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
		・1級 ・2級		・1類 ・特類				

化粧ばり構造用合板								
施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の材種名	接着の程度	表面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
		・1級 ・2級		・1類 ・特類				

パーティクルボード							
施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用	

JAS 0360（構造用パネル）による構造用パネル				
施工箇所	等級	厚さ(mm)	間伐材等の適用	
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級			

・6-9 接合金物 (6.2.4)

種類	材質	寸法・形状等	表面処理等
	・溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ステンレス製		

接合金物（Z、C、X、D、Sマーク表示金物）			
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他
・火打金物			
・筋交いプレート			
・引き寄せ金物			
・梁受け金物			

Z、C、X、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。

・6-10 釘及び木ねじ (6.2.4)

釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘			
種類	材質	その他	
・N釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508	
・CN釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508	
・S釘	◎ステンレス鋼	◎JIS A 5508	

木ねじ（JIS B 1112またはJIS B 1135）、その他の木ねじ			
種類	材質	その他	
・	◎ステンレス	・JIS B 1112　・JIS B 1135	
・	◎ステンレス	・JIS B 1112　・JIS B 1135	
・			
・			

・6-11 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (6.2.4)

ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金（Z、C、X、D、Sマーク表示金物）			
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格等	その他	
・アンカーボルト			
・六角ボルト			
・座金			

Z、C、X、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。

ボルト及びナット

材料　・木造標仕表 6.2.2（JIS 附属書品）による。  
・木造標仕表 6.2.2（JIS 付属書品）又は JIS 本体規格品（ISO 規格）による。（JIS 本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト強度区分を 4.6 又は 4.8 の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-C の鋼製とする。）

表面処理　・溶解亜鉛めっき　・電気亜鉛めっき　・錆止め塗装

ボルト及びアンカーボルトに用いる座金

種別　・

表面処理　・溶解亜鉛めっき　・電気亜鉛めっき　・錆止め塗装

・6-12 ラグスクリュウ (6.2.4)

ラグスクリュウ（Z、C、D、Sマーク表示金物）			
種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	
・ラグスクリュウ			

ラグスクリュウ			
種類	材質	形状・寸法等	表面処理等
・ラグスクリュウ	◎木造標仕表 5.2.2 のボルトによる		

・6-13 ドリフトピン (6.2.4)

ドリフトピン			
種類	材質	形状・寸法等	表面処理等
・ドリフトピン	・SS400		

・6-14 木栓及び木だぼ (6.2.4)

木栓及び木だぼ			
種類	樹種	形状・長さ等	その他
・木栓			
・木だぼ			

・6-15 接着剤 (6.2.4)

・床鳴り防止接着剤（JIS A 5550）　接着剤の種類　・  
・接着剤と併用した場合　接着剤の種類　・  
・接着剤による接合　接着剤の種類　・

・6-16 原寸図 (6.4.2)

床書き原寸図の作成　・作成する　・作成しない

・6-17 孔あけ加工 (6.4.5)（表 6.4.1）

ボルトの孔径			
ボルトの径	ボルトの径に加える大きさ (mm)	その他	
・16未満	◎1.0		
・16以上	◎2.0		

ドリフトピンの孔径　◎ピン径と同径　・

・6-18 表面仕上げ (6.4.6)（表 6.4.2～4）（標仕 18.12.2）

見え掛りの表面仕上げ

集成材			
加工方法	種別	その他	
・機械加工	・A種 ◎B種		

製材			
加工方法	種別	その他	
・機械加工	・A種　・B種　・C種		
・手加工	・A種　・B種　・C種		

木材保護塗料塗り  
施工箇所　◎図示  
種別　・A種　◎B種

・6-19 アンカーボルトの埋込み (6.5.3)

保持及び埋込み工法　・A種　・B種  
埋込み位置の許容誤差　◎±5mm　・

・6-20 基礎天端及び柱底均しモルタル仕上げ (6.5.4)

材料　・木造標仕 6.5.4 (f) による　・無収縮モルタル  
モルタルの厚さ　・20mm 程度　・  
柱均しモルタルの工法　・A種　◎B種

・6-21 建方精度 (6.5.7)

建入れ直し後の建方精度の許容値  
◎垂直、水平の許容の範囲 1/1,000 以下　・

・6-22 接合金物の工法 (6.5.9)（19.1.2）

熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱  
・埋め木　・簡易発砲硬質ウレタンフォーム断熱材　・

・6-23 釘、木ねじ等の工法 (6.5.10)

構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち  
・隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

・6-24 輪型ジベル接合 (6.5.15)

輪型ジベル			
種類	材質・形状・寸法等		

・6-25 圧入型ジベル接合 (6.5.16)

圧入型ジベル			
種類	材質・形状・寸法等		

・6-26 火打土台 (6.6.2)

・木材の火打土台　・鋼製火打土台

・6-27 火打梁 (6.7.8)（6.8.6）

小屋組　・木製の火打梁　・鋼製の火打梁  
床組　・木製の火打梁　・鋼製の火打梁

・6-28 床束 (6.8.2)

・木製床束　・鋼製床束　・樹脂製床束

## 7章　枠組壁工法工事

・7-1 木材の品質 [G] (7.1.2)

◎木造標仕 7.1.2 による

・7-2 枠組壁工法構造用製材 [G] (7.2.2)

JASS 0600（枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材）による甲種枠組材の規格				
施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・特級　・1級 ・2級　・3級	

JASS 0600（枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材）による乙種枠組材の規格				
施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	

JASS 0600（枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材）によるMSR 枠組材の規格				
施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	曲げ応力等級	間伐材等の適用

・7-3 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 [G] (7.2.2)

JASS 0600（枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材）によるたて枠用たて継ぎ材の規格				
施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・特級　・1級　・2級　・3級	

JASS 0600（枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材）による甲種たて継ぎ材の規格				
施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・特級　・1級　・2級　・3級	

JASS 0600（枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材）による乙種たて継ぎ材の規格				
施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	

・7-4 製材 [G] (7.2.2)

JAS 1083-5（製材 - 第5部：下地用製材）による下地用製材					
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級(材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・1級・2級	・D15　・D20 ・SD15　・SD20	・

・7-5 集成材 [G] (7.2.2)

「集成材の日本農林規格」による構造用集成材						
施工箇所	樹種	寸法(mm)	強度係数	材面の品質	接着性能(使用環境)	間伐材等の適用
				・1級・2級 ・3級	・A　・B ・C	・

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱					
施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・

・7-6 構造用単板積層材[G] (7.2.2)

JAS 0701（単板積層材）による構造用単板積層材							
施工箇所	樹種	寸法(mm)	厚さ(mm)	等級	接着性能(使用環境)	曲げヤング係数区分	間伐材等の適用
				・特級 ・1級 ・2級	・1　・2		

・7-7 構造用鋼材 (7.2.2)

施工箇所	材料	板厚・形状	表面処理	間伐材等の適用

・7-8 木質接着成形軸材料等 [G] (7.2.2)

木質接着成形軸材料				
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

木質複合軸材料				
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

木質断熱複合パネル				
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

木質接着複合パネル				
施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による構造用合板								
施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の材種名	接着の程度	表面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
		・1級 ・2級		・1類 ・特類				

パーティクルボード							
施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用	

JAS 0360（構造用パネル）による構造用パネル				
施工箇所	等級	厚さ(mm)	間伐材等の適用	
	・1級　・2級・3級　・4級			

ハードボード						
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	油、樹脂等の特殊処理	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用

パルプセメント板			
施工箇所	厚さ(mm)	種類	備考
		かさ比重による区分 ◎1.1板	化粧加工の有無 ・普通板　・化粧板

MDF						
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	普通MDF、構造用MDFの区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用

国土交通大臣の認定を受けた耐力壁に使用する製材				
施工箇所	仕様	強度	含水率(%)	間伐材等の適用

・7-12 釘及び木ねじ (7.2.4)

釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘				
種類	材質	その他		
・N釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508		
・CN釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508		
・S釘	◎ステンレス鋼	◎JIS A 5508		

木ねじ（JIS B 1112またはJIS B 1135）、その他の木ねじ			
種類	材質	その他	
・	◎ステンレス	・JIS B 1112　・JIS B 1135	
・	◎ステンレス	・JIS B 1112　・JIS B 1135	
・			
・			

・7-13 接合金物 (7.2.4)

接合金物（Z、C、X、D、Sマーク表示金物）			
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他
・引き寄せ金物			
・梁受け金物			
・			

Z、C、X、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。

製作接合金物			
種類	材質	寸法・形状等	表面処理等
	◎ステンレス製		

・7-14 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (7.2.4)

ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金（Z、C、X、D、Sマーク表示金物）			
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	
・アンカーボルト			
・六角ボルト			
・座金			

Z、C、X、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。

ボルト及びナット

材料　・木造標仕表 7.2.3（JIS 附属書品）による。  
・木造標仕表 7.2.3（JIS 付属書品）又は JIS 本体規格品（ISO 規格）による。（JIS 本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト強度区分を 4.6 又は 4.8 の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-C の鋼製とする。）

種別　・

表面処理　・溶解亜鉛めっき　・電気亜鉛めっき　・錆止め塗装

ボルト及びアンカーボルトに用いる座金

種別　・

表面処理　・溶解亜鉛めっき　・電気亜鉛めっき　・錆止め塗装

・7-15 接着剤 (7.2.3)

接着剤の種類（床根太用接着剤 JIS A 5550）　・

・7-16 アンカーボルトの埋込み (7.5.3)

・7-17 基礎天端均しモルタル仕上げ (7.5.4)

材料 ・木造標仕8.5.4(イ)による ・無収縮モルタル  
モルタルの厚さ ・20mm程度 ・

・7-18 床束 (7.7.2)

・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束

8章 丸太組構法工事

・8-1 木材の品質 [G] (8.1.2)

◎木造標仕8.1.2による

・8-2 丸太組壁用木材 [G] (8.2.2)

機械加工の丸太組壁用木材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	品質	含水率(%)	間伐材等の適用
			◎木造標仕8.2.2(1)(c) ・ 図示		・

手加工の丸太組壁用木材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	径(mm)	品質	間伐材等の適用
				◎ 図示	・

・8-3 製材 [G] (8.2.3)

JAS 1083-3 (製材 - 第3部：目視等級区分構造用製材)による目視等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	構造材の種類	等級 (材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・ 構造材Ⅰ ・ 甲種 ・ 構造材Ⅱ ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ SD15 ・ SD20	・

JAS 1083-4 (製材 - 第4部：機械等級区分構造用製材)による機械等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	曲げ性能等級	等級 (材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ D10 ・ D13	・

JAS 1083-6 (製材 - 第6部：広葉樹製材)による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級(材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・ 特級 ・ 1級 ・ 2級		・

その他の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級(材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・ 15 ・ 20	・

JAS 1083-5 (製材 - 第5部：下地用製材)による下地用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級(材面の品質)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・ 1級 ・ 2級	・ D15 ・ D20 ・ SD15 ・ SD20	・

・8-4 集成材 [G] (8.2.3)

「集成材の日本農林規格」による構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	強度係数	材面の品質	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用
				・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A ・ B ・ C	・

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・

・8-5 枠組壁工法構造用製材 [G] (8.2.3)

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材)による甲種枠組材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材)による乙種枠組材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・ コンストラクション ・ スタンダード ・ ユティリティ	

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材)によるMSR枠組材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	曲げ応力等級	間伐材等の適用

・8-6 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 [G] (8.2.3)

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材)による甲種たて継ぎ材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	

JASS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材)による乙種たて継ぎ材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・ コンストラクション ・ スタンダード ・ ユティリティ	

JAS 0600 (枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材)によるMSRたて継ぎ材の規格

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	曲げ応力等級	間伐材等の適用

国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材

施工箇所	樹種又は樹種郡	寸法型式(mm)	区分	等級	含水率(%)	間伐材等の適用
				・ 甲種 ・ 乙種		

・8-7 木質接着成形軸材料等 [G] (8.2.3)

木質接着成形軸材料

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

木質複合軸材料

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

木質断熱複合パネル

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

木質接着複合パネル

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

丸太材

施工箇所	種別	寸法(mm)	末口径(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用

・8-8 構造用面材 [G] (8.2.4)

「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の材種名	接着の程度	表面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
		・ 1級 ・ 2級		・ 1類 ・ 特類				

パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用

JAS 0360 (構造用パネル)による構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ(mm)	間伐材等の適用
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級		

・8-9 接合金物 (8.2.5)

接合金物 (M、Z、C、D、Sマーク表示金物)

種類	M、Z、C、D、Sマークの規格等	短期許容耐力(kN)	その他

M、Z、C、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。

製作接合金物

種類	材質	寸法・形状等	表面処理等
	・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ ステンレス製		

・8-10 だぼ (8.2.5)

ラグスクリューだぼ

規格等 ◎Zマーク表示金物

・ Zマーク表示金物以外  
材質 ・ 木造標仕表8.2.6のボルトによる  
寸法・形状等 ・  
表面処理等 ・

・8-11 ジャッキボルト (8.2.5)

種類	材質	寸法・形状等	表面処理等
	・ SS400		

・8-12 垂木用スライド金物 (8.2.5)

種類	材質	寸法・形状等	表面処理等
	・ SS400		

・8-13 釘、木ねじ等 (8.2.5)

釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材質	その他
・ N釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508
・ CN釘	◎表面処理された鉄	◎JIS A 5508
・ S釘	◎ステンレス鋼	◎JIS A 5508

・8-14 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (8.2.5)

ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (Zマーク表示金物)

種類	Zマークの規格等	その他
・ アンカーボルト ・ 座金		

Zマーク表示金物には付属する接合具も含む。

ボルト及びナット

材料 ・ 木造標仕表5.2.2 (JIS附属書品)による。  
・ 木造標仕表5.2.2 (JIS付属書品)又はJIS本体規格品 (ISO規格)による。(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。)  
・  
表面処理 ・ 溶剤亜鉛めっき ・ 電気亜鉛めっき ・ 錆止め塗装  
ボルト及びアンカーボルトに用いる座金

種類 ・  
表面処理 ・ 溶剤亜鉛めっき ・ 電気亜鉛めっき ・ 錆止め塗装

・8-15 通しボルト、高ナット及び座金 (8.2.5)

通しボルト、高ナット及び座金 (Mマーク表示金物)

種類	Mマークの規格等	その他
・ 通しボルト		

Mマーク表示金物には付属する接合具も含む。

通しボルト、高ナット及び座金

種類	材質・強度等	寸法・種別等	表面処理等
・ 通しボルト ・ 高ナット ・ 座金	・ SR235		

・8-16 接着剤 (8.2.5)

接着剤の種類 (床根太用接着剤 JIS A 5550) ・

・8-17 断面加工 (8.4.2)

機械加工

・ 断面形状 木造標仕図8.4.1による ・ (イ) ・ (ロ) ・ (ハ) ・ (ニ)  
見付高さ、重なり幅、部材幅 ◎ 図示 ・  
・ さね形状 ◎ 製造所の仕様 ・  
見付高さ、重なり幅、部材幅 ◎ 図示 ・

・8-18 交差部の形加工 (8.4.3)

交差部の形状 ◎ 製造所の仕様

交差部が壁面から200mm未満の場合の補強方法 ◎ 図示 ・

・8-19 孔あけ加工 (8.4.4)

ドリフトピンの孔径 ◎ ピン径と同径 ・

・8-20 丸太壁用木材の表面仕上げ (8.4.5) (標仕18.12.2)

加工方法	仕上げ
・ 機械加工	◎ 自動機械かんな掛け仕上げ ・
・ 手加工	・ ちような ・ 曲面かんな ・ ディスクサンダー掛け ・

木材保護塗料塗り

施工箇所 ◎ 図示

種別 ・ A種 ◎ B種

・8-21 丸太壁用木材以外の表面仕上げ (8.4.6) (表8.4.5~7) (標仕18.12.2)

見え掛り面の表面仕上げ

構造用集成材

加工方法	種別	その他
・ 機械加工	・ A種 ◎ B種	

製材

加工方法	種別	その他
・ 機械加工	・ A種 ・ B種 ・ C種	
・ 手加工	・ A種 ・ B種 ・ C種	

丸太材

加工方法	種別	その他
・ 機械加工	・ A種 ・ B種	
・ 手加工	・ A種 ・ B種	

木材保護塗料塗り

施工箇所 ◎ 図示

種別 ・ A種 ◎ B種

・8-22 継手の方法 (8.4.7)

◎木造標仕8.4.7(2) ・

・8-23 仮組立 (8.4.9)

・ 適用する ・ 適用しない

・8-24 アンカーボルトの埋込み (8.5.3)

保持及び埋込み方法 ・ A種 ・ B種

・8-25 基礎天端均しモルタル仕上げ (8.5.4)

材料 ・ 木造標仕8.5.4(イ)による ・ 無収縮モルタル  
モルタルの厚さ ・ 20mm程度 ・

・8-26 通しボルトの増締め (8.5.7)

増締めを行う時期 木造標仕8.5.7(9)(イ) ・ (a) ・ (b) ・ (c)

・8-27 ジャッキボルトの増締め (8.5.8)

増締めを行う時期 木造標仕8.5.8(2) ・ (7) ・ (イ) ・ (ウ)

・8-28 釘、木ねじ等の工法 (8.5.11)

構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち  
・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し

・8-29 火打土台 (8.6.2)

・ 木材の火打土台 ・ 鋼製火打土台

・8-30 火打梁 (8.7.9) (8.8.6)

小屋組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁  
床組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁

・8-31 床束 (8.8.2)

・ 木製床束 ・ 鋼製床束 ・ 樹脂製床束

・8-32 階段 (8.9.7)

階段の取付け 木造標仕8.9.7(1) ・ (7) ・ (イ) ・ (ウ)

9章 木工事

◎9-1 木材の品質 [G] (10.1.2)

◎木造標仕10.1.2による ・ 市販品

◎9-2 表面仕上げ (10.1.3) (表10.1.1.2)

製材

表面仕上げの種別	適用箇所
・ ◎A種	待合棟2・式場棟 外部見掛け柱、内装
・ B種	
・ C種	
・ H-A種	
・ H-B種	
・ H-C種	

造作用集成材

表面仕上げの種別	適用箇所
・ A種	
・ B種	
・ C種	
・ H-A種	
・ H-B種	
・ H-C種	

◎9-3 製材 [G] (10.2.2)





○18-4 特殊機能床 (標仕 19. 2. 2)

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類
・帯電防止床シート	(mm)		
・帯電防止床タイル	× (mm)		
・視覚障害者用床タイル	(mm)		
・耐動荷重性床シート	(mm)		
●防滑性床シート	(mm)		
・防滑性床タイル	× (mm)		

○18-5 ビニル幅木 (標仕 19. 2. 2)

材質 ●軟質 ・硬質  
高さ(mm) ◎60 ・75 ・100  
厚さ(mm) ◎1.5以上 ●2.0

・18-6 ゴム床タイル (標仕 19. 2. 2)

種類 ・単層 ・複層  
色柄 ( )  
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0  
寸法(mm) ( )

・18-7 カーペット敷きG (標仕 19. 3. 3, 4) (標仕表 19. 3. 1)

・織じゆうたん

種別	バイル形状	色柄	帯電性	糸の種類	工法
・A類	・カットバイル	◎無地	◎適用する	・	◎ヒートボンド
・B類	・ループバイル	◎柄物	◎適用しない	・	◎ヒートボンド
・C類	・カット、ループ併用				

タフテッドカーペット		工法		備考	
バイル形状	バイル長 (mm)				
・カットバイル	◎5~7	・全面接着工法	・適用する		
・ループバイル	◎4~6	・グリッパー工法	( )		
・カット、ループ併用	・		・適用しない		

バイル形状	種別	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	
◎ループバイル	◎第一種	◎500×500	◎6.5	平場	◎市松敷き ・模様流し
・カットバイル	・第二種	・	・	階段	◎模様流し ・市松敷き
・カット、ループ併用	・	・	・		

・18-8 合成樹脂塗床 (標仕 19. 4. 2. 3) (標仕表 19. 4. 4~6)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床)			◎平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・

○18-9 フローリング張りG (標仕 19. 5. 2~5) (標仕表 19. 5. 1~6)

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	備考
◎フローリング®-ド1等	・ぶな ・なら ・さくら	・15 ・12以上	・釘止め工法(根本張り) ・釘止め工法(直張り)	
・フローリング®-ド1等 (体育館用)	◎かば	・	◎接着工法	
・フローリング® ロック1等		◎15	・接着工法	303 x 303

種別	樹種	厚さ (mm)	工法	種別	種別 (住宅)
◎天然木化粧 複合フロー リング張り	◎なら ・住宅用	◎12	◎釘留め工法(根本張り) ・釘留め工法(直張り) ・発泡アクリル系床下地張り工法 ・乾式遮音二重床下地材張り工法	・A種 ・B種 ・C種	・A種 ・B種 ◎D種
・体育館用	・	・8以上 ・12以上	・接着工法(合成樹脂発泡シート裏打ち)		
・体育館用	・	・18 ・27	・普通張り ◎特殊張り		

ホルムアルデヒドの発散量 ◎規制対象外 ・第三種

現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ・行わない

◎ウレタン樹脂ワニス塗り  
・オイルステインの上、ワックス塗り  
・生地のままワックス塗り

○18-10 畳敷き (標仕 19. 6. 2) (標仕表 19. 6. 1)

下地の種類	畳の種類
標仕表 12. 6. 1による床組	・A種 ・B種 ●C種 ・D種 ( )
ポリスチレンフォーム床下地	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ( )

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

○18-11 せっこうボードその他ボード及び合板張り (標仕 19. 7. 2. 3) (標仕表 19. 7. 1. 3. 5)

種類	厚さ (mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通木片セメント板	・30 ・
・けい酸カルシウム板	◎タイプ2(無石棉)
・ロックウール化粧吸音板	◎フラットタイプ(◎9 ・12) (不燃) ・凸凹タイプ(◎12 ・15 ・19) (不燃)
・ロックウール化粧吸音板(軒天併用)	◎フラットタイプ 9 (不燃) ・凸凹タイプ(・12 ・15) (不燃)
●せっこうボード	●9. 5(不燃) ●12. 5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	◎9. 5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(15×15×15mm)
●シージンクせっこうボード	●12. 5(不燃)
・強化せっこうボード	・12. 5(不燃) ・15. 0(不燃)
・せっこうラスボード	◎9. 5

・化粧せっこうボード	◎9. 5(・準不燃 ・不燃)
●化粧せっこうボード(木目)	◎12. 5(不燃)幅440程度 模様(◎柱目・板目)専用下地材付
●普通合板	表面の材種 生地、透明塗料塗り (◎ラワン程度 ・ ) 不透明塗料塗り (◎しな程度 ・ ) 板面の品質 ( ) 厚さ(mm) ( ) 接着の程度(・1類・2類) ・防虫処理・
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による厚さ1. 2
・シージンクボード	・3・7・9・12
・パーティクルボード	

・軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

◎アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド

工法合板の張り付け ・A種 ◎B種

せっこうボードの目地工法 ・目渡し ・突付け ・継目処理

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ◎規制対象外 ・第三種

○18-12 吸音材 (標仕表 19. 7. 1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	◎25 ・
◎グラスウール吸音ボード32K	GW-B	◎25 ●50

○18-13 壁紙張り (標仕 19. 8. 2. 3)

施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考
	紙	繊維 (織物)	ブラ (ビニル)	その他 (化学繊維)		
図示	・	・	●	・	・	●不燃 ●準不燃 ・難燃
図示	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃

モルタル、せっこうプラスター面の素地ごしらえ ・A種 ◎B種

せっこうボード面の素地ごしらえ ・A種 ◎B種

壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ◎規制対象外 ・第三種

19章 ユニット及びその他工事

○19-1 断熱材等材料 (20. 2. 2~4)

断熱材 [G]						
分類	断熱材の種類	材料名	規格番号	施工箇所	厚さまたは使用量	品質等
断熱材	・フェルト状断熱材	・グラスウール	・JIS A 9521			
		・ロックウール	・JIS A 9504			
			・JIS A 9521			
●ボード状断熱材	・グラスウール		・JIS A 9521			
		・ロックウール	・JIS A 9504			
			・JIS A 9521			
●ボード状断熱材	●ビーズ法ポリスチレンフォーム		・JIS A 9511	◎外壁	●50	
			・JIS A 9521			
		●押出法ポリスチレンフォーム		◎土間	●25	
		●硬質ウレタンフォーム A種				
		・ポリエチレンフォーム		◎外壁		
断熱材	●フェノールフォーム					
		・インシュレーションファイバー				
・ばら状断熱材	・グラスウール		・JISA9523			
		・ロックウール				
		・セルローズファイバー				
断熱材	・現場発泡断熱材	・吹付硬質ウレタンフォーム A種1(難燃性を有するもの)	・JISA9526			

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ◎規制対象外 ・第三種

断熱材の施工 ・充填断熱工法 ・充填断熱工法(防蟻処理 ・行う ・行わない)

省略しない ・省略する

床下及び小屋裏等の点検口まわり( )

コンセント及びスイッチボックスのまわり

・木造標仕 20. 2. 4(4) (a) (b)①

・木造標仕 20. 2. 4(4) (a) (b)②

防湿材				
種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等	
住宅用プラスチック系防湿フィルム	・	・	・	
・包装用ポリエチレンフィルム	・	◎0. 05以上	・	
農業用ポリエチレンフィルム	・	◎0. 05以上	・	
・気密材				
種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等	
木造標仕 20. 2. 2(3) (a)	・	・	・	
木造標仕 20. 2. 2(3) (b)	・	・	・	
木造標仕 20. 2. 2(3) (c)	・	・	・	
木造標仕 20. 2. 2(3) (d)	・	・	・	
木造標仕 20. 2. 2(3) (e)	・	・	・	

木造標仕 20. 2. 2(3) (f)	・	・	・
木造標仕 20. 2. 2(3) (g)			
・防風材			
種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等
木造標仕 20. 2. 2(4) (a)	・	・	・
木造標仕 20. 2. 2(4) (b)	・	・	・
木造標仕 20. 2. 2(4) (c)	・	・	・
木造標仕 20. 2. 2(4) (d)	・	・	・
木造標仕 20. 2. 2(4) (e)	・	・	・

・19-2 フリーアクセスフロア (標仕 20. 2. 2)

施工箇所	構法	設定高さ (mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能 (N/㎡)	表面仕上げ材
・パネル構法	・	・1. 06	・3. 000	・帯電防止ビニル床タイル	・タイルカーベット
・溝工法	・	・0. 66	・5. 000	・帯電防止ビニル床タイル	・タイルカーベット
・パネル構法	・	・1. 06	・3. 000	・帯電防止ビニル床タイル	・タイルカーベット
・溝工法	・	・0. 66	・5. 000	・帯電防止ビニル床タイル	・タイルカーベット

表面仕上げ材の品質・規格等は、標仕 19章内装工事による  
配線用取出しパネル 配線取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1カ以上  
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ◎20~30%  
空調用吹き出しパネル ◎無・有 (◎固定式 ・可変式：施工箇所は図示)  
製造所：評価名簿による

・19-3 可動間仕切 (標仕 20. 2. 3)

構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式	・	◎鋼板	◎メラミン樹脂または	・有	・有
・スタッドパネル式	・	(◎0. 6 ・0. 8)	アクリル樹脂焼付け	( )	・無
◎パネル式				・無	

品質 JIS A 6512によるものまたは評価名簿による

パネル材のホルムアルデヒド放射量 ◎規制対象外

○19-4 移動間仕切 (標仕 20. 2. 4)

遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		・鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式・電動式 ・部分電動式
●遮音タイプ (36dB以上)		●鋼板	●焼付塗装 ・壁紙張り	●手動式・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は標仕 19章内装工事による

製造所評価名簿による

○19-5 トイレブース (標仕 20. 2. 5)

表面仕上げ材 ◎メラミン樹脂系化粧板 (標準色アルミ製コーナーエッジ付き)

・ポリエステル樹脂系化粧板

足形状 ◎幅木型 ・足金物型

製造所監督職員の承諾する製造所による

パネル材のホルムアルデヒド放射量 ◎規制対象外

○19-6 手すり及びタラップ (標仕 20. 2. 6, 12)

・手すり ・アルミニウム製 (表面処理)

・ステンレス SUS304 (表面処理)

・鋼製 (表面処理)

●タラップ ◎ステンレス SUS304

・19-7 階段滑り止め (標仕 20. 2. 7)

材質 ◎ステンレス (SUS304)

形状 ◎ビニルタイヤ入り両端フラットエンド ◎有 (◎ビニル製 ・ステンレス製) ・無

幅 (mm) ◎約 35 ・

取付工法 ◎接着工法 ・埋込み工法

・19-8 階段手すり

種別	施工箇所
◎集成材クリアラッカー仕上げ (市販品径：約 40mm)	
・ビニル製ハンドレール (幅：約 40mm)	

・19-9 黒板及びホワイトボードG (標仕 20. 2. 9)

種類	寸法	色彩	備考
・黒板	◎焼付け	◎緑 ・黒	◎平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		◎緑 ・黒	◎平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
・ホワイトボード	◎ほうろう	◎白	◎平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		◎白	◎平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

○19-10 鏡 (標仕 20. 2. 10)

厚さ ◎5mm ・

○19-11 表示 (標仕 20. 2. 11)

区分	材質	取付位置
●衝突防止表示	●ステンレス製 ・図示	●図示 ・
●室名札	・アクリル板 ●図示	●図示 ・
・	・	・

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。

表示標識は図示による。ただし、案内用図記号は JIS T8210 による。

製造所：監督職員の承諾する製造所

・19-12 煙突用成型ライニング材 (標仕 20. 2. 13)

最高使用温度650℃

製造所：評価名簿による

・19-13 キャスタブル耐火材 (標仕 20. 2. 13)

工法 ◎こて押さえ

最高使用温度 ◎400℃

製造所：監督職員の承諾する製造所

・19-14 ブラインド (標仕 20. 2. 14)

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス、レールの材種
◎横型	・手動	◎ギャ式	◎アルミニウム合	◎25	・鋼製

		・コード式	金製G	・35	・
		・操作棒式	・		
・電動	・	・	・		
・縦型	・手動	・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	アルミニウム合金製
		・1本操作コード式	・クロススラット	・100	
・電動	・	・	・		

○19-15 ロールスクリーンG (標仕 2

・19-27 複合金属サイディング工事 (20. 3. 3)

・サイディング材

種類	形状	有効幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	表面材 しん材の種類	防火・耐火性能
・	・	・	・	・	・	・

張り方 ・縦張り ・横張り  
 換気口部の防水処置 ◎木造標仕 20. 3. 3(3) (7) (b) ・  
 現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ ・  
 通気胴縁 材種 ◎杉 ・  
 寸法 ◎図示 ・  
 防露処理方法 ・

2 0 章 排水工事

・20-1 排水管 (標仕 21. 2. 1. 2) ( 標仕表 21. 2. 1. 2)

配水管用材料

材種	管の種類	管形状 (接合方法)
◎遠心力鉄筋コンクリート管	◎外圧管 ( 1 種 2 種)	B 形 (ゴム接合)
●硬質塩化ビニル管	◎VPVU ・	
・引けり硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管	・RS-VP [G]	

車道部の配水管の敷設 ◎図示 ・  
 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度◎18N/mm<sup>2</sup> ・  
 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ◎SD295 ・  
 材質 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの  
 凍上抑制層の厚さ ◎図示 ・  
 凍上抑制層に用いる材料 ・  
 砂の粒度試験 ◎行う ・行わない

・20-2 排水枘及びふた (標仕 21. 2. 1)

鉄製マンホールふた

種類	適用荷重
・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式) ・RS-VU [G]	・T-2 用 ・T-6 用 ・T-20 用 ・

製造所：評価名簿による  
 グレーチングふた

材質	形式	用途	適用荷重	メイン・ヒッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	◎受枠付き ・ ボルト固定 ◎無 ◎図示	・溝ふた用 ・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ・T-14 用 ・T-20 用	◎細目 ◎普通目 ・細目	◎凹凸形 ・平形 ・

製造所：評価名簿による

・20-3 埋戻し土 (標仕 21. 2. 1)

◎B種 (標仕表 3. 2. 1) ・

2 1 章 舗装工事

○21-1 盛り土に用いる材料 (標仕 22. 2. 3)

・A種 ●B種 ・C種 ・D種

・21-2 凍上抑制層の材料 (標仕 22. 2. 3)

・再生クラッシュヤラン [G] ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・砂

・21-3 路床安定処理材料 (標仕 22. 2. 3)

・添加材料による安定処理  
 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメント B 種  
 ・生石灰 ( ) ・消石灰 ( )  
 添加量 ・ kg/m<sup>3</sup> (目標 C B R ・ 5 以上 ・ )

・21-4 試験 (標仕 22. 2. 5)

路床土の支持力比 (C B R) 試験 ・行う ( ・ 乱した土 ・ 乱さない土) ・行わない  
 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない  
 砂の粒度試験 ・行う ・行わない  
 現場 C B R 試験 ・行う ・行わない  
 セメント及びセメント系固着剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験  
 ◎行う 「セメント及びセメント系固着剤を使用した六価クロム溶出試験要領 (案)」による。

・21-5 路盤材料 (標仕 22. 3. 2. 3. 5) ( 標仕表 22. 3. 1)

◎再生クラッシュヤラン (RC-40) [G]  
 ・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G]  
 ・クラッシュヤラン (C-40)  
 透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの

・21-6 路盤の締め固め度試験 (標仕 22. 3. 5)

◎行う

・21-7 アスファルト舗装 (標仕 22. 4. 2~6) ( 標仕表 22. 4. 4)

車道部の基層 ◎無  
 アスファルト ◎再生アスファルト [G] ・ストレートアスファルト  
 ・加熱アスファルト混合物の種類

区分	一般地域	寒冷地域
表層	・密粒度 757µm 混合物 (13) ・細粒度 757µm 混合物 (13)	・密粒度 757µm 混合物 (13F) ・細粒度 757µm 混合物 (13F)
基層	・粗粒度 757µm 混合物 (20)	

・シールコート ・行わない ・行う (施工範囲： )  
 ・アスファルト混合物の抽出試験 ・行わない ・行う

・21-8 コンクリート舗装 (標仕 22. 5. 2~4. 6) ( 標仕表 22. 5. 1. 3)

コンクリート  
 ◎普通コンクリート、標仕表 22. 5. 1 による  
 ・普通コンクリートではない場合は下記による  
 コンクリートの種類 ・  
 設計基準強度 ・

所定のスランプ ◎B ・  
 粗骨材の最大寸法 ・  
 早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない  
 注入目地材料 ◎低弾性タイプ ・高弾性タイプ  
 溶接金網 ・有 ・無  
 厚さ試験 ・行わない ・行う

・21-9 カラー舗装 (標仕 22. 6. 2~4)

・加熱系カラー舗装

材料	区分	車道部の基層	厚さ (mm)
・有機骨材 (焼成) ・自然石 ・着色骨材 (樹脂皮膜)	・	・車道 ・歩道	◎なし ・あり

・常温系カラー舗装  
 工法 ・ニート工法 ・塗布工法  
 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装

・21-10 透水性アスファルト舗装 (標仕 22. 7. 6)

アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

・21-11 ブロック系舗装 (標仕 22. 8. 2. 3)

・コンクリート平板舗装 [G]

種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材
◎普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・保水性平板 (M)	◎300 角 ・	◎60 ・	◎砂 ・モルタル

クッション材 ◎砂 ・空練りモルタル  
 製造所：監督職員の手承認する製造所

・インターロッキングブロック舗装 [G]

種類	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等
◎標準ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック (V)	車道部 ◎80 歩道部 ◎60 ◎80 ・100	◎標準品

製造所：監督職員の手承認する製造所

・舗石舗装 (歩行者用通路) の構成及び厚さ ◎図示

種類	厚さ (mm)	施工方法	基層
◎小舗石 (花こう岩)	◎80~100	◎うろこ張り ・	◎コンクリート版 ・アスファルト混合物

・21-12 路面標示用塗料

路面標示用塗料は JIS K 5665 による。

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・3 種 1 号	熔融	粉体状	◎白	・150 ・100	・1. 0	塗料総質量に対して 5 % 以下
・1 種 [G]	常温	液状	・			
・2 種 [G]	加熱					

2 2 章 植栽及び屋上緑化工事

・22-1 樹木の植栽基盤整備 (標仕 23. 2. 2. 4)

◎行う

樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工法	整備範囲
・12m 以上	◎100 ・		

・7m 超~12m 未満	◎80 ・	◎A 種 ・B 種	・葉張りの範囲 ただし、低木は植栽範囲
・3m 超~7m 未満	◎60 ・	・C 種 ・D 種	・図示
・3m 未満	◎50 ・		
・芝、地被類	◎20	◎B 種	◎植栽範囲 ・図示

工法 D 種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤まで植込み用土で盛土を行う。

・22-2 植込み用土 (標仕 23. 2. 3)

◎現場発生土の良質土 ・客土 ( ・畑土 ・黒土)

・22-3 土壌改良材 (標仕 23. 2. 3)

土壌改良材の適用  
 ・適用する ・バーク堆肥 [G] (50 リットル/m<sup>2</sup>) または発酵汚泥コンポスト (10 リットル/m<sup>2</sup>)  
 施工箇所 ・植栽範囲 ・図示

・22-4 支柱材 (標仕 23. 3. 2. 3)

◎杉の丸太 (間伐材) [G] ・真竹 (良質な 2 年生以上)

・22-5 幹巻き用材料 (標仕 23. 3. 2)

材料 ◎幹巻き用テープ ・わら及びこも

・22-6 芝張り (標仕 23. 4. 2. 3)

種類 ◎こうらい芝 ・野芝 ・  
 工法 ・目地張り ・べた張り

2 3 章

○23-1 完成検査

完成検査は工期内検査とする。

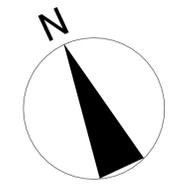
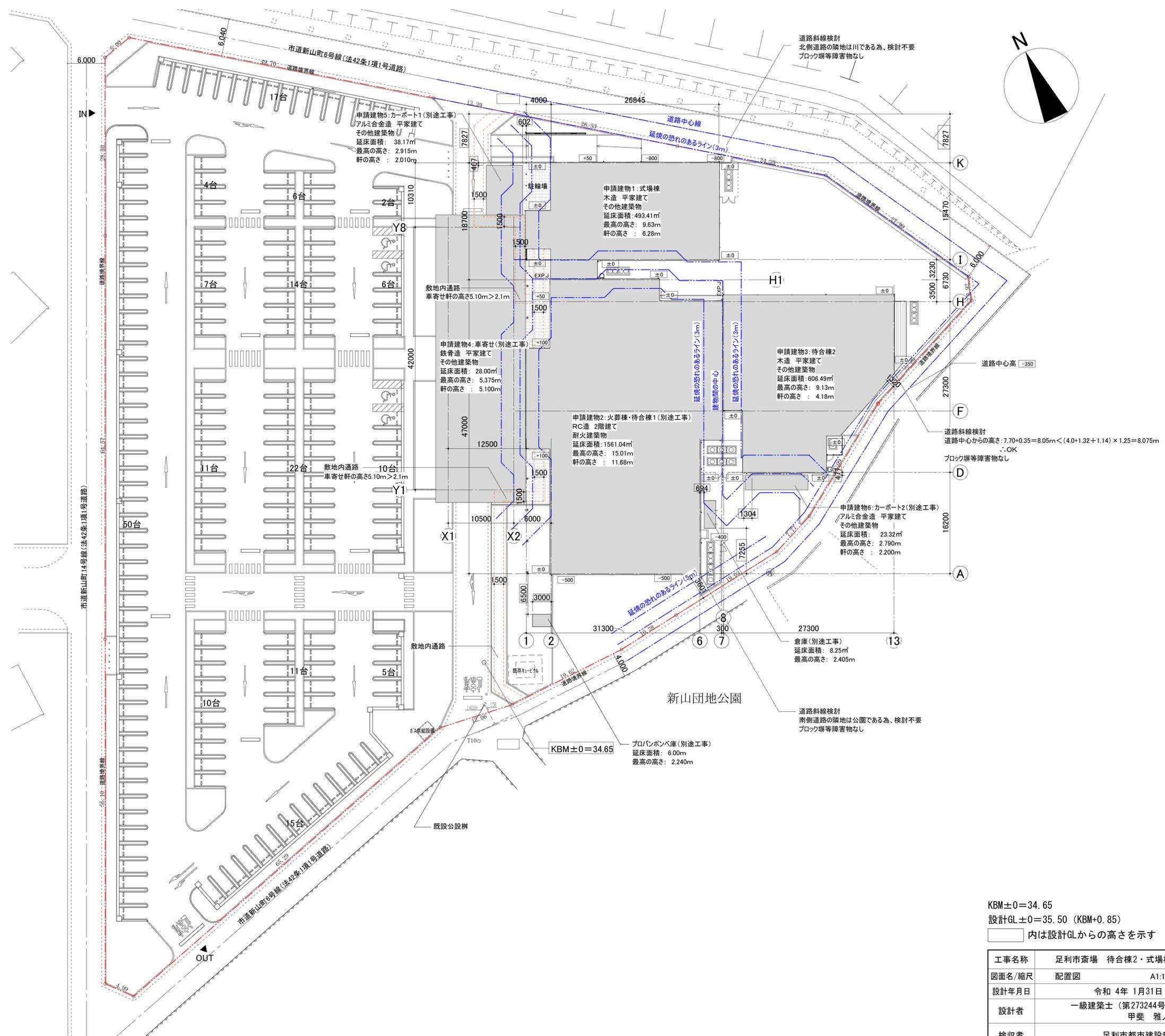
その他

※特記なき事項においても機能上必要となる事項は、工事範囲とする。  
 ※工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な許可・届出手続き等一切を遅延なく行うこと。  
 ※仮囲いの設置・盛替え等を行う場合は、第三者の安全に十分配慮すること。  
 ※発生土処理は、構外搬出適切処理 (自由処分) とし、請負業者の責任により処分を行うこと。  
 ※概成工期は、工事着手後に関連工事と調整を行った上で、実施工程表に適正な工期を明記し監督員の承諾を受けること。  
 ※受注者は、本工事において栃木県足利市内から産出した木材を使用し、「栃木県産木材証明制度」による証明書を提出すること。(フローリング・構造用合板を除く)  
 ※フローリング・構造用合板は国産材とする。  
 ※足利市産材に関する問い合わせ先は「栃木県木材協同組合連合会」とする。

別表-1 他工事との取り合い

工事内容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	塗装工事	昇降機設備工事	火葬炉設備工事	●印を適用する	
							○	◎
仮設電力の引込み (分電盤・キュービクルまで)	●	○	○	○	○	○		
仮設電力の引込み (分電盤・キュービクル以降)	●	●	●	○	○	○		
仮設電力の電気料	●	●	●	●	●	●		
本受電後の電気基本料金	○	○	○	○	○	○		
本受電後引渡しまでの電気使用料	●	●	●	●	●	●		
仮設水道の引込み (メーターまで)	●	○	○	○	○	○		
仮設水道の引込み (メーター以降)	●	●	●	●	●	●		
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	●	●	●	●	●	●		
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠 (電気、機械の配管等)	○	○	○	○	○	○		
すべての開口、貫通、埋込部の補強	●	○	○	○	○	○		
屋上に設置する機器の基礎 (電気及び機械機器)	●	○	○	○	○	○		
屋内及び屋外に設置する機器の基礎 (電気及び機械機器)	○	●	●	○	○	○		
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に行く機器の位置・墨出し	○	●	●	○	○	○		
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に行く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	○	○	○	○	○		
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に行く機器の開口部補強を要する場合の切込み	●	○	○	○	○	○		
天井・壁 (軽量鉄骨下地) に行く機器の開口部補強	●	○	○	○	○	○		
天井換気扇の取付	○	○	●	○	○	○		
壁・窓用換気扇の取付	○	○	●	○	○	○		
壁・窓用換気扇取付枠	●	○	○	○	○	○		
点検口の取付 (床・壁・天井・P S 等)	●	○	○	○	○	○		
防煙ダンパー	○	○	●	○	○	○		
防煙ダンパー用煙感知器の配管・配線	○	○	○	○	○	○		
床仕上げ材の穴あけ (フローリングブロック等)	●	●	○	○	○	○		
ルーフトレイン及び緩どい (樹及び側溝までの配管)	●	○	○	○	○	○		
配線ビット及び蓋	●	○	○	○	○	○		
電極棒及びフロートスイッチ	○	○	○	○	○	○		
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等 2 次側配線	●	●	○	○	○	○		
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	○	○	○	○	○	○		
機械設備の制御、操作盤の 2 次側配線	○	●	●	○	○	○		
天井吊り形放射器 (FCU 等) と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	○	○	○	○	○	○		
消火栓箱総合盤用穴あけ	○	○	●	○	○	○		
設備機器のインターロックの配管・配線	○	○	○	○	○	○		
電気設備のフェンス・金網	○	●	○	○	○	○		
ガス漏れ警報器 (単設型)	○	●	○	○	○	○		
ガス漏れ警報器 (集中監視型)	○	○	○	○	○	○		
ガス漏れ警報器用コンセント	○	●	○	○	○	○		
造り付け流し台	●	●	○	○	○	○		
造り付け流し台排水トラップ	●	○	○	○	○	○		
既製流し台及び排水トラップ (ガス台・洗面化粧台等を含む)	○	○	●	○	○	○		
既製吊戸棚	●	○	○	○	○	○		
鏡 (姿見は建築工事)	○	○	○	●	○	○		
昇降機の出入口開口の型枠	●	○	○	○	○	○		
昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	●	○	○	○	○	○		
昇降機のビット内保守用コンセント	○	●	○	○	○	○		
外壁取付ガラリ、排煙口	●	○	○	○	○	○		
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	●	○	○	○	○	○		
昇降機インターホンの配管・配線	○	●	○	○	○	○		

工事名称	足利市斎場 待合棟 2 ・式場棟建設工事 (建築工事)	
図面名称/縮尺	特記仕様書 ( 9 )	図面番号
設計年月日	令和 4 年 4 月	A - 009
設計者	一級建築士 (273244 号) 甲斐 雅人	
発注者	足利市都市建設部建築住宅課	

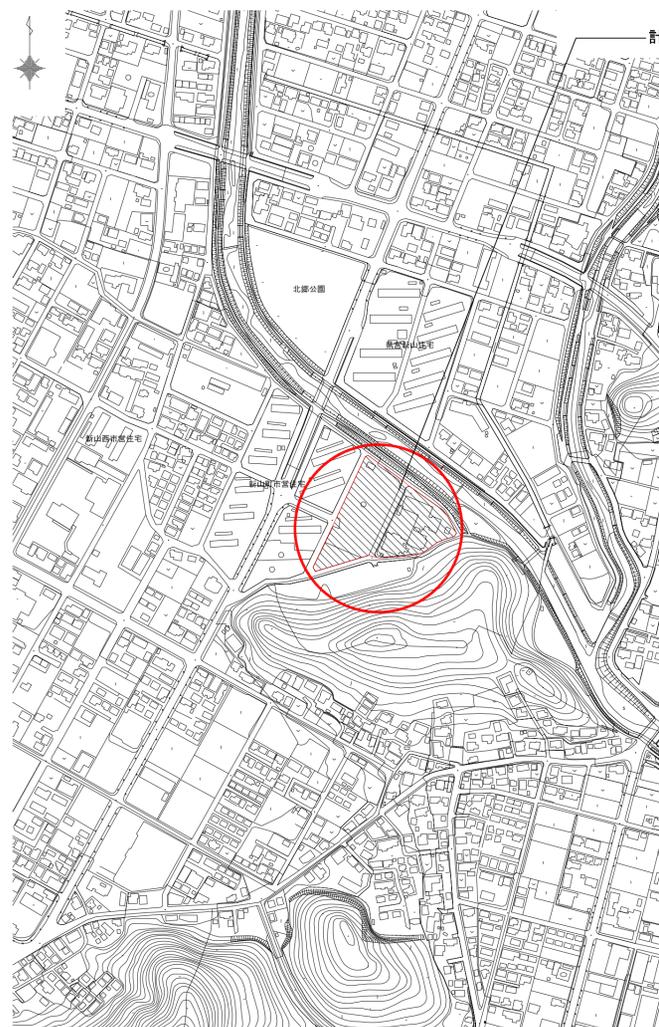


KB $\pm 0 = 34.65$   
 設計GL $\pm 0 = 35.50$  (KB $+0.85$ )  
 □内は設計GLからの高さを示す

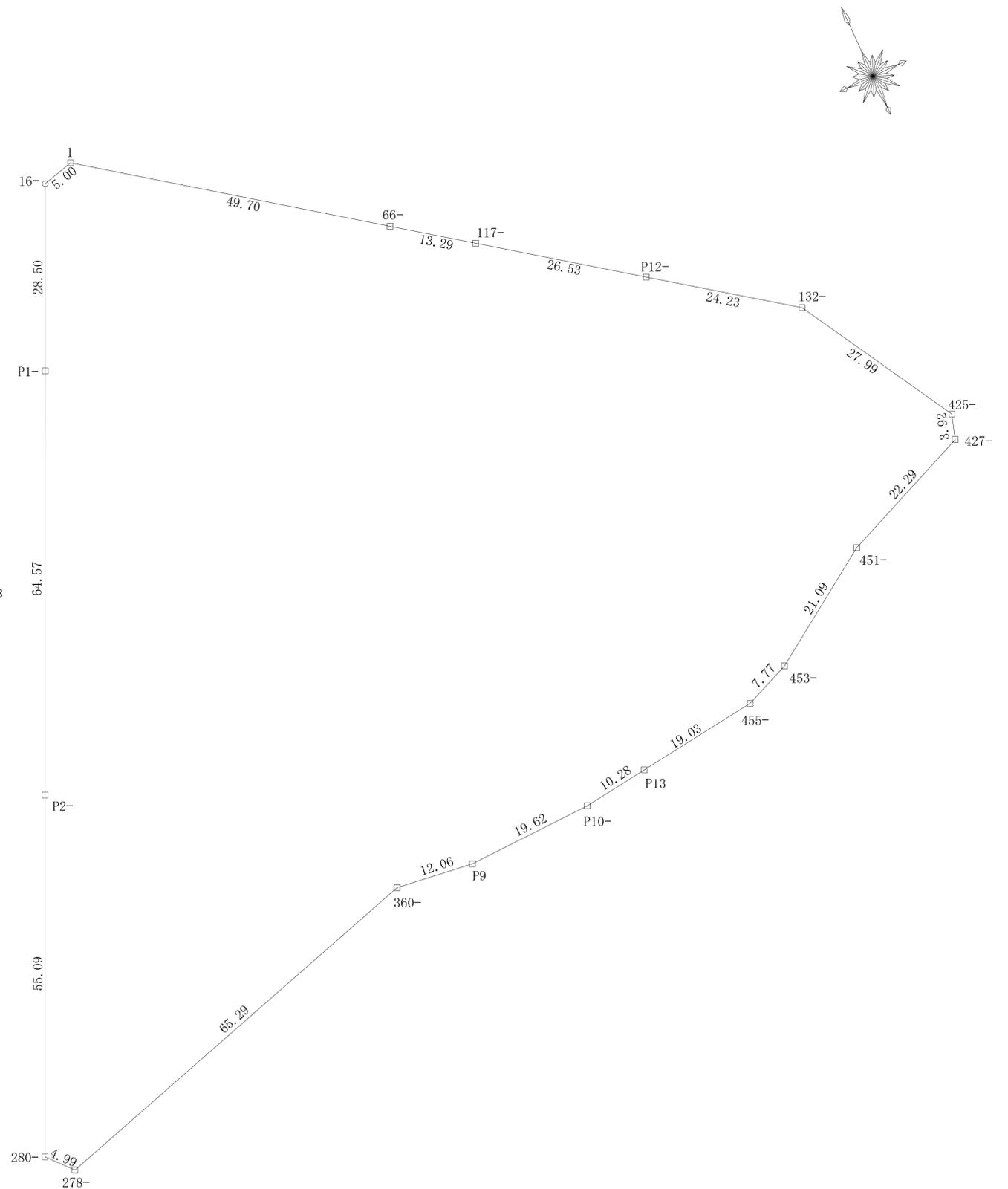
工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	
図面名/縮尺	配置図 A1:1/300,A3:1/600	図面番号
設計年月日	令和 4年 1月31日	A-010
設計者	一級建築士 (第273244号) 甲斐 雅人	
検取者	足利市都市建設部建築住宅課	

求積表

地番	事業区域			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
1	38613.175	-32643.452	45.063	1740025.505025
66-	38583.968	-32603.229	50.988	1967319.360384
117-	38576.165	-32592.464	32.241	1243734.135765
P12-	38560.574	-32570.988	41.116	1585456.560584
132-	38546.369	-32551.348	33.595	1294965.266555
425-	38522.099	-32537.393	12.804	493236.955596
427-	38518.349	-32538.544	-21.700	-835848.173300
451-	38509.692	-32559.093	-38.083	-1466564.600436
453-	38497.966	-32576.627	-24.713	-951400.233758
455-	38494.986	-32583.806	-26.064	-1003333.315104
P13	38492.566	-32602.691	-29.086	-1119594.774676
P10-	38491.232	-32612.892	-29.817	-1147693.064544
P9	38490.564	-32632.508	-31.589	-1215878.426196
360-	38492.072	-32644.481	-74.610	-2871893.491920
278-	38473.630	-32707.118	-65.931	-2536604.899530
280-	38477.385	-32710.412	19.794	761621.358690
P2-	38527.413	-32687.324	50.179	1933267.056927
P1-	38586.025	-32660.233	39.032	1506089.727800
16-	38611.905	-32648.292	16.781	647946.377805
			合計	24851.325667
合計面積				12425.6628335
地積				12425.66 m <sup>2</sup>



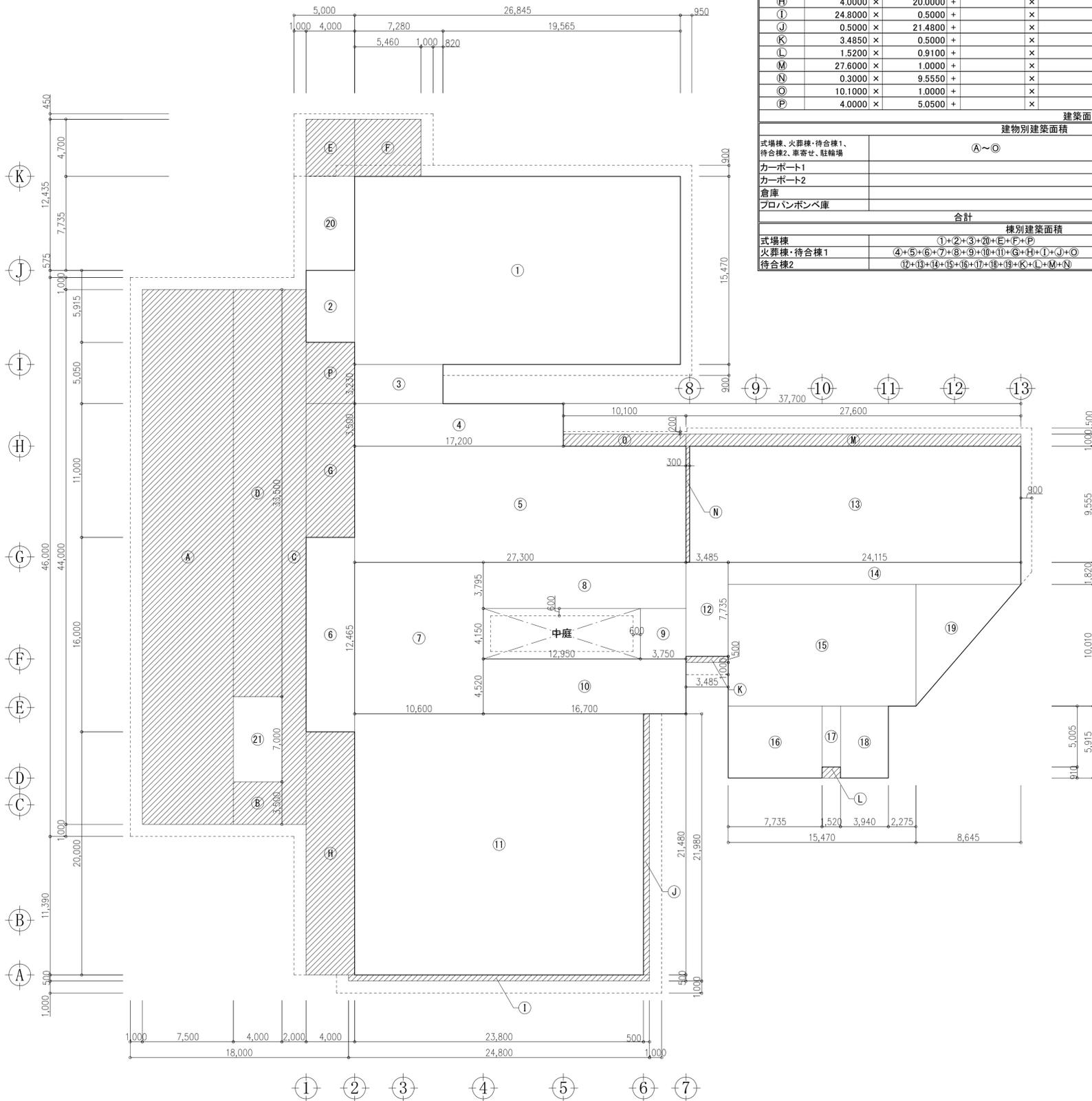
計画地：足利市新山町11-1、11-2、11-3、12-1、12-2、12-3、33



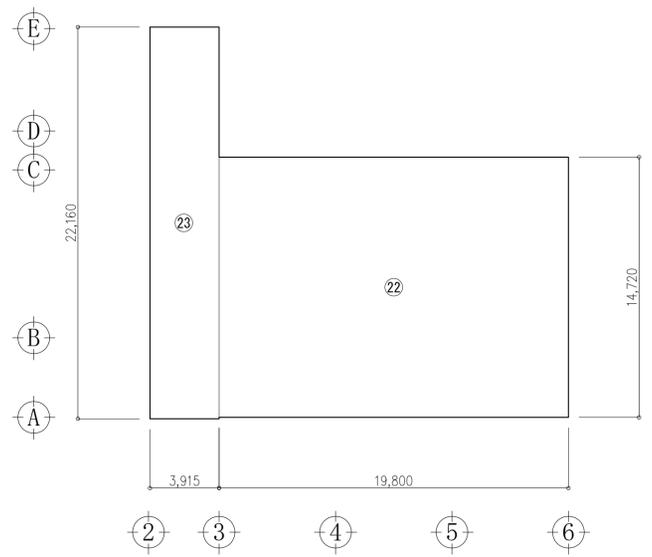
工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事（建築工事）	
図面名/縮尺	附近見取図・敷地求積図 A1/1:400, A3/1:800	図面番号
設計年月日	令和 4年 1月31日	A-011
設計者	一級建築士（第273244号） 甲斐 雅人	
発注者	足利市都市建設部建築住宅課	

建築面積 (m, m)										
符号	X	x	Y	+	X	x	Y	計算値	合計	備考
1階床面積									2310.71948	
(A)	7.5000	x	44.0000	+		x		330.00000		
(B)	4.0000	x	3.5000	+		x		14.00000		
(C)	2.0000	x	44.0000	+		x		88.00000		
(D)	4.0000	x	33.5000	+		x		134.00000		
(E)	4.0000	x	4.7000	+		x		18.80000		
(F)	5.4600	x	4.7000	+		x		25.66200		
(G)	4.0000	x	11.0000	+		x		44.00000		
(H)	4.0000	x	20.0000	+		x		80.00000		
(I)	24.8000	x	0.5000	+		x		12.40000		
(J)	0.5000	x	21.4800	+		x		10.74000		
(K)	3.4850	x	0.5000	+		x		1.74250		
(L)	1.5200	x	0.9100	+		x		1.38320		
(M)	27.6000	x	1.0000	+		x		27.60000		
(N)	0.3000	x	9.5550	+		x		2.86650		
(O)	10.1000	x	1.0000	+		x		10.10000		
(P)	4.0000	x	5.0500	+		x		20.20000		
建築面積									3132.21368	3132.21
建物別建築面積										
式場棟・火葬棟・待合棟1・待合棟2・車寄せ・駐輪場 (A~O)									3132.21368	3132.21
カーポート1									38.17	38.17
カーポート2									23.32	23.32
倉庫									8.25	8.25
プロパンボンベ庫									6.00	6.00
合計									3207.95	
棟別建築面積										
式場棟 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲)									558.06855	558.07
火葬棟・待合棟1 (④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)									1340.0675	1340.07
待合棟2 (⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳)									640.077625	640.08

延床面積 (m, m)										
符号	X	x	Y	+	X	x	Y	計算値	合計	備考
1階										
(1)	26.8450	x	15.4700	+		x		415.29215		
(2)	4.0000	x	5.9150	+		x		23.66000		
(3)	7.2800	x	3.2300	+		x		23.51440		
(4)	17.2000	x	3.5000	+		x		60.20000		
(5)	27.3000	x	9.5550	+		x		260.85150		
(6)	4.0000	x	16.0000	+		x		64.00000		
(7)	10.6000	x	12.4650	+		x		132.12900		
(8)	16.7000	x	3.7950	+		x		63.37650		
(9)	3.7500	x	4.1500	+		x		15.56250		
(10)	16.7000	x	4.5200	+		x		75.48400		
(11)	23.8000	x	21.4800	+		x		511.22400		
(12)	3.4850	x	7.7350	+		x		26.95648		
(13)	27.3000	x	9.5550	+		x		260.85150		
(14)	24.1150	x	1.8200	+		x		43.88930		
(15)	15.4700	x	10.0100	+		x		154.85470		
(16)	7.7350	x	5.9150	+		x		45.75253		
(17)	1.5200	x	5.0050	+		x		7.60760		
(18)	3.9400	x	5.9150	+		x		23.30510		
(19)	8.6450	x	10.0100	+	2.0000			43.26823		
小計									2251.77948	2251.78
1階駐輪場 (20)									4.0000 x 7.7350	30.94000
小計									30.94000	30.94
1階外部庇下 (21)									4.0000 x 7.0000	28.00000
小計									28.00000	28.00
2階										
(22)	19.8000	x	14.7200	+		x		291.45600		
(23)	3.9150	x	22.1600	+		x		86.75640		
小計									378.21240	378.21
延べ面積									2688.93	2688.93
棟別延床面積										
式場棟 (1階) (①+②+③+④+⑤)									493.40655	493.41
火葬棟・待合棟1 (1階) (④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪)									1182.82750	1182.83
火葬棟・待合棟1 (2階) (22+23)									378.21240	378.21
小計									1561.03990	1561.04
待合棟2 (1階) (⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲)									606.48543	606.49
小計									606.48543	606.49
車寄せ (1階) (21)									28.00000	28.00
小計									28.00000	28.00
カーポート1 (1階)									38.17000	38.17
小計									38.17000	38.17
カーポート2 (1階)									23.32000	23.32
小計									23.32000	23.32
倉庫 (1階)									8.25000	8.25
小計									8.25000	8.25
プロパンボンベ庫 (1階)									6.00000	6.00
小計									6.00000	6.00
合計									2764.67	2764.67



1階 面積求積図



2階 面積求積図

工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	
図面名/縮尺	建築面積・延床面積求積図 A1/1:200, A3/1:400	図面番号
設計年月日	令和 4年 1月31日	A-012
設計者	一級建築士 (第273244号) 甲斐 雅人	
発注者	足利市都市建設部建築住宅課	



法第35条、法第35条の3、令第111条、令第116条第2項に規定する居室の採光に有効な部分の面積算定

◎採光上有効な窓その他の開口部の算定

※計算方法：別表にて得た室面積を基に【k】を乗じて、採光上有効な窓その他の開口部の算定を行う。  
 【(X1×Y1)+(X2×Y2)・・・×箇所数】にて算出した面積と必要開口面積との比較を行う。

※一室に建具が複数有る場合、採光補正係数A算出に用いる水平距離(d)は不利側に位置する建具の数値を採用する。  
 ※第一種住居地域 採光補正係数A算出式：A=(d/h)×6-1.4

室名	室面積	必要採光面積 k=1/20	有効開口面積計 Σs	判定	採光補正 係数A	建具記号	面積小計	X1	Y1	箇所数	採光補正係数A算出		
											d	h	算出係数
<式場棟>													
式場ロビー・廊下	146.73	7.337	< 13.824	OK	3	AW - 105	4.608	1.800	2.560	1	22.480	8.050	15.30
式場	98.13	4.907	> 28.784	OK	3	AW - 103	9.595	1.445	1.660	4	1.780	0.800	11.90
式場待合室	41.44	2.072	< 5.760	OK	3	AW - 102	1.920	0.600	1.600	2	10.160	4.960	10.89
導師控室	10.14	0.507	< 8.217	OK	3	AW - 104	2.739	1.650	1.660	1	32.290	5.360	34.70
親族控室	14.72	0.736	< 15.000	OK	1	AW - 9	15.000	1.000	3.000	5	2.300	5.600	1.06
<火葬棟・待合棟1>													
お別れホール	113.70	5.685	< 33.696	OK	3	SW - 2	11.232	0.780	2.400	6	4.350	5.540	3.30
多目的室	29.32	1.466	> 3.840	OK	3	AW - 13	1.280	0.800	1.600	1	11.320	9.540	5.70
お別れ室1	51.36	2.568	< 17.664	OK	3	AW - 15	5.888	1.840	1.600	2	8.680	9.540	4.05
お別れ室2	51.36	2.568	< 26.640	OK	3	AW - 115	8.880	0.740	0.600	20	5.650	0.970	33.50
お別れ室3	51.36	2.568	< 24.192	OK	3	AW - 107	8.064	1.680	2.400	2	19.000	2.410	45.90
事務室・廊下	72.87	3.644	< 24.192	OK	3	AW - 107	8.064	1.680	2.400	2	19.000	2.410	45.90
休憩室	13.40	0.670	< 24.192	OK	3	AW - 107	8.064	1.680	2.400	2	16.400	2.410	39.40
救護室	7.77	0.389	< 24.192	OK	3	AW - 107	8.064	1.680	2.400	2	12.620	2.410	30.00
売店・待合ロビー1.2	192.28	9.614	< 6.480	OK	3	AW - 111	2.160	0.600	1.200	3	1.880	2.390	3.30
火葬業務員休憩室	16.43	0.822	< 10.220	OK	3	AW - 108	1.340	0.670	2.000	1			
監視室	21.15	1.058	< 3.840	OK	3	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2			
<待合棟2>													
待合ロビー2	198.38	9.919	< 3.840	OK	3	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2			
待合室1	46.09	2.305	< 3.840	OK	3	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2			
待合室2	46.09	2.305	< 3.840	OK	3	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2			
待合室3	46.09	2.305	< 3.840	OK	3	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2			
待合室4	46.09	2.305	< 3.840	OK	3	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2			
待合室5	46.09	2.305	< 3.840	OK	3	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2			
キッズルーム	21.51	1.076	< 2.160	OK	3	AW - 111	2.160	0.600	1.200	3			

法第35条、法第35条の2、令第116条の2、令第126条の2、令第128条の3の2に規定する居室で窓その他開口部の開放できる部分の面積の算定

◎排煙の検討

※計算方法：別表にて得た室面積を基に【k】を乗じて、排煙上有効な窓その他の開口部の検討を行う。  
 【(X1×Y1)+(X2×Y2)・・・×箇所数】にて算出した面積と必要開口面積との比較を行う。

室名	室面積	必要開口面積 k=1/50	有効開口面積計 Σs	判定	建具記号	面積小計	X1	Y1	箇所数	備考
式場ロビー	146.73	2.935	< 2.945	OK	AW - 116	2.945	1.550	0.950	2	
式場	98.13	1.963	< 3.100	OK	AW - 106	3.100	1.550	0.400	5	
式場待合室	41.44	0.829	< 1.148	OK	AW - 103	1.148	0.700	0.410	4	
導師控室	10.14	0.203	< 0.600	OK	AW - 104	0.600	0.800	0.750	1	
親族控室	14.72	0.294	< 0.600	OK	AW - 104	0.600	0.800	0.750	1	
<火葬棟・待合棟1>										
お別れホール	113.70	2.274	< 4.922	OK	AW - 8	4.922	1.070	0.920	5	
多目的室	29.32	0.586	> ※窓なし	※平12建告1436-4-二(4)を適用						
お別れ室1	51.36	1.027	> ※窓なし	※平12建告1436-4-二(4)を適用						
お別れ室2	51.36	1.027	> ※窓なし	※平12建告1436-4-二(4)を適用						
お別れ室3	51.36	1.027	> ※窓なし	※平12建告1436-4-二(4)を適用						
事務室・廊下	72.87	1.457	> ※窓なし	※平12建告1436-4-二(4)を適用						
休憩室	13.40	0.268	> 0.248	NG	AW - 3	0.248	0.540	0.460	1	※平12建告1436-4-二(4)を適用
救護室	7.77	0.155	> ※窓なし	※平12建告1436-4-二(4)を適用						
売店・待合ロビー1.2	192.28	3.846	< 5.106	OK	AW - 6	5.106	1.110	0.920	5	
火葬業務員休憩室	16.43	0.329	< 0.640	OK	AW - 13	0.640	0.800	0.800	1	
監視室	21.15	0.423	< 1.440	OK	AW - 15	1.440	0.900	0.800	2	
<待合棟2>										
待合ロビー2	198.38	3.968	< 8.880	OK	AW - 115	8.880	0.740	0.600	20	
待合室1	46.09	0.922	< 1.520	OK	AW - 107	1.520	0.800	0.475	4	
待合室2	46.09	0.922	< 1.520	OK	AW - 107	1.520	0.800	0.475	4	
待合室3	46.09	0.922	< 1.520	OK	AW - 107	1.520	0.800	0.475	4	
待合室4	46.09	0.922	< 1.520	OK	AW - 107	1.520	0.800	0.475	4	
待合室5	46.09	0.922	< 1.520	OK	AW - 107	1.520	0.800	0.475	4	
キッズルーム	21.51	0.430	< 0.720	OK	AW - 111	0.720	0.600	0.400	3	

法第28条第2項に規定する換気上有効な窓その他の開口部の算定

◎換気上有効な窓その他の開口部の算定

※計算方法：別表にて得た室面積を基に【k】を乗じて、換気上有効な窓その他の開口部の算定を行う。  
 【(X1×Y1)×箇所数】にて算出した面積と必要開口面積との比較を行う。

※判定が『NG』となった居室については、令第20条の2第1項口による機械換気設備を設置する。

室名	室面積	必要開口面積 k=1/20	有効開口面積計 Σs	判定	建具記号	面積小計	X1	Y1	箇所数	備考
<式場棟>										
式場ロビー・廊下	146.73	7.337	> ※機械換気設備設置							
式場	98.13	4.907	> 3.100	NG	AW - 106	3.100	1.550	0.400	5	※機械換気設備設置
式場待合室	41.44	2.072	< 4.648	OK	AW - 103	4.648	0.700	1.660	4	
導師控室	10.14	0.507	< 1.328	OK	AW - 104	1.328	0.800	1.660	1	
親族控室	14.72	0.736	< 1.328	OK	AW - 104	1.328	0.800	1.660	1	
<火葬棟・待合棟1>										
お別れホール	113.70	5.685	< 9.522	OK	AW - 8 AW - 9	4.922 4.600	1.070 1.000	0.920 0.920	5 5	
多目的室	29.32	1.466	> ※機械換気設備設置							
お別れ室1	51.36	2.568	> ※機械換気設備設置							
お別れ室2	51.36	2.568	> ※機械換気設備設置							
お別れ室3	51.36	2.568	> ※機械換気設備設置							
事務室・廊下	72.87	3.644	> ※機械換気設備設置							
休憩室	13.40	0.670	> 0.559	NG	AW - 3	0.559	0.540	1.035	1	※機械換気設備設置
救護室	7.77	0.389	> ※機械換気設備設置							
売店・待合ロビー1.2	192.28	9.614	< 15.552	OK	SW - 2 AW - 6 AW - 7	5.616 5.106 4.830	0.780 1.110 1.050	2.400 0.920 0.920	3 5 5	
火葬業務員休憩室	16.43	0.822	< 1.280	OK	AW - 13	1.280	0.800	1.600	1	
監視室	21.15	1.058	< 2.880	OK	AW - 15	2.880	0.900	1.600	2	
<待合棟2>										
待合ロビー2	198.38	9.919	< 10.220	OK	AW - 115 AW - 108	8.880 1.340	0.740 0.670	0.600 2.000	20 1	
待合室1	46.09	2.305	< 3.840	OK	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2	
待合室2	46.09	2.305	< 3.840	OK	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2	
待合室3	46.09	2.305	< 3.840	OK	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2	
待合室4	46.09	2.305	< 3.840	OK	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2	
待合室5	46.09	2.305	< 3.840	OK	AW - 107	3.840	0.800	2.400	2	
キッズルーム	21.51	1.076	< 2.160	OK	AW - 111	2.160	0.600	1.200	3	

工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事（建築工事）	
図面名/縮尺	法チェック図 A1/1:150, A3/1:300	図面番号
設計年月日	令和 4年 1月31日	A-014
設計者	一級建築士（第273244号） 甲斐 雅人	
発注者	足利市都市建設部建築住宅課	

一般事項	法規制欄略号	耐火・防火認定番号				認定番号				
1. 特記以外の柱、はり、下り壁の仕上は壁仕上による。 2. 付属物のうち、室名札、誘導標識、便所表示、階表示、床改め口、などの位置は、天井伏図、家具キープラン、平面詳細図による。 3. 付属物のうち、カーテンボックス、カーテンレール、ブラインド、天井点検口などの位置は、天井伏図による。 4. 床高は基準FLからの高さとする。	<内装制限> (不) 仕上・下地共 不燃 (不) 仕上 不燃 (準) 仕上・下地共 準不燃 (準) 仕上 準不燃 (難) 仕上 難燃	<排煙設備> 告(2) 建告1436-4-ニ(2) (不) 仕上 不燃 告(4) 建告1436-4-ニ(4) (不) 仕上・下地共 不燃	□耐火建築物 □準耐火建築物(イ) □準耐火建築物(ロ-1) □準耐火建築物(ロ-2) ■その他	区別	認定番号	材 料 名				
			主要構造部	構造・時間	法令・仕様	仕 上	不 燃	NM-8576	繊維強化セメント板<フレキ板、波板>	
			間仕切壁(耐力壁)					NM-8577	化粧繊維強化セメント板<化粧フレキ板、化粧波板>	
			外 壁(耐力壁)					NM-8578	繊維混入けい酸カルシウム板<ケイカル板>	
			柱					NM-8599	ロックウール吸音板	
			床					NM-8601	吹付ロックウール (10以上)	
			はり					NM-8606	アルミはく張ガラスウール保温板	
			屋根					NM-8613	不燃積層石こうボード (9.5)	
			階段					NM-8615	強化石こうボード (9.5, 15, 18, 21, 25)	
								NM-8617	石こうプラスタ塗ラスボード (7+8)	
								NM-8618	せっこうプラスボード下地仕上用せっこうプラスタ塗 (9+3)	
								NM-8619	石こうボード (12.5)	
								NM-1864	化粧せっこうボード (不燃) (9.5)	
								NM-0879	化粧せっこう吸音ボード (9.5)	
								他の一般的な不燃材は告示第1400号に依る		
			その他の部位	構造	法令根拠・認定番号	仕 上	準不燃	QM-9824	化粧石こうボード (9.5)	
			外壁D(延焼の恐れのある部分)	防火構造	PC030BE-3689	木軸組+GW100(24K)充填+耐力面材厚9+木製シロコシ+AL厚50 +合成樹脂系塗材、室内側GB-R厚12.5張		QM-9825	特殊せっこう吸音ボード (9.5)	
			外壁A, B, C(延焼の恐れのある部分)	防火構造	PC030BE-9201	木軸組下地窯業系サイディング表張/石膏ボード裏張		QM-9826	シーリング石こうボード (9.5, 12.5)	
			軒裏(延焼の恐れのある部分)	30分準耐火	QF030RS-0281	木下地火山性ガラス質堆積物粉体混入ロックウール板厚12張		QM-9827	吸音用穴あき石こうボード (9.5, 12.5)	
			間仕切壁(小屋裏区画)	1時間準耐火	建告1358号第1-I-n(1)-(iii)(両面大壁造)	木下地+GB-R厚12.5+12.5両面張		QM-9828	石こうボード (9.5)	
								難 燃	RM-9340	難燃合板

特記事項	壁紙の防火種別	施工方法	基 材			
			法定不燃材料	法定不燃石膏ボード	法定不燃材料	金属
1. 使用材料は全てF☆☆☆☆とする。(接着剤・クリアーニング材等含む)	1-1	直張り	不燃	不燃	準不燃	準不燃
2. 主要用途:式場	1-1	直張り	不燃	準不燃	準不燃	難燃
3. その他建築物		下張り	準不燃	難燃	難燃	
4. 消防火 (1)項目	1-3	直張り	不燃	準不燃	準不燃	
5. 屋根断熱材:セルロースファイバー厚120(母屋下不織布張り)	1-4	直張り	不燃	不燃	準不燃	不燃
6. 北・東・南面外壁断熱材:厚50透湿系ビーズ法ポリスチレンボード (外断熱工法)	1-5	直張り	不燃	不燃	準不燃	難燃
7. 土間下断熱材:厚25ポリスチレンフォーム敷込 (配管ピット部分は打ち込みとする)	1-6	直張り	不燃	不燃	準不燃	
8. 土間防湿シート :厚0.15ポリエチレンフィルム敷込	2-1	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	準不燃
9. 外壁木軸内断熱材:グラスウール厚100(24kg/m <sup>3</sup> )	2-2	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	難燃
10.カーテン、絨毯等を利用する場合は防災物品を使用する。		下張り	難燃	難燃	難燃	
11.化学物質の濃度測定室:式場、式場待合室、親族控室	2-3	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	
12.外壁透湿系アクリルシリコン樹脂塗装は特別色とする。	2-4	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	難燃
13.建具表は参考図とし、同等品以上とする。	2-5	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	
14.認定番号は参考とし、同等品以上とする。		下張り	難燃	難燃	難燃	
15.化粧ケイカル板は木目調とする。	3-1	直張り	不燃	難燃	難燃	
	3-2	直張り	不燃	不燃	難燃	
	3-3	直張り	不燃	準不燃	難燃	
	4-1	直張り	準不燃	難燃	難燃	
	4-2	直張り	準不燃	準不燃	難燃	
	5-1	直張り	難燃	難燃	難燃	
	6-1	直張り	不燃	不燃		
	6-2	直張り				不燃

外部仕上表									
位置	項目	仕 上	備 考	位置	項目	仕 上	備 考		

屋 根	《式場棟》 屋根A	母屋120×120,断熱材充填,垂木90×45@455,構造用合板厚24,透湿防水紙,通気垂木45×45@455,構造用合板厚12の上 改質アスファルトルーフィング厚1.0,カラーガルバリウム鋼板厚0.4 一文字葺き (遮音仕様) 勾配:4/10 (式場・式場吐一部)、3/10 (風除室・下屋部)	雪止め金物 唐草・鼻隠し・破風:屋根同材 曲げ加工	床	風除室前・駐輪場	モルタル木ごて御影石厚25 ジェットバーナー仕上			
	屋根B (連絡通路部)	垂木75×45@455(落し込み) 構造用合板厚18+改質アスファルトルーフィング厚1.0の上カラーガルバリウム鋼板厚0.4 立葺き (遮音仕様) 勾配:1/20	唐草・鼻隠し・破風:屋根同材 曲げ加工 立上り:カラーガルバリウム鋼板角波サイディング 笠木:アルミ笠木 (W250) EXP.ジョイント:7mm製 (電解着色)						
外 壁	外壁A (風除室外壁)	木軸組GW100(24K)充填,耐力面材厚9+透湿防水シート+木縦胴縁18×45(継手部・出入隅部・開口横等は18×90)@455 窯業系ベースサイディング厚20.5(16.0+4.5)の上二丁掛タイル張 (乾式工法)	土台水切・通気見切縁:アルミ押出成形品						
	外壁B (西妻面 下屋軒下)	木軸組GW100(24K)充填,耐力面材厚9+透湿防水シート+木縦胴縁18×45(継手部・出入隅部・開口横等は18×90)@455 窯業系ベースサイディング厚20.5(16.0+4.5)の上二丁掛タイル張 (乾式工法)	土台水切・通気見切縁:アルミ押出成形品						
	外壁C (西妻面 下屋上部)	木軸組GW100(24K)充填,耐力面材厚9+透湿防水シート+木縦胴縁18×45(継手部・出入隅部・開口横等は18×90)@455 窯業系サイディング厚16(無塗装板)の上透湿系アクリルシリコン樹脂塗装	化粧格子:人口木50×50、50×30格子組						
	外壁D(北・東・南面)	木軸組GW100(24K)充填,耐力面材厚9+透湿防水シート+透湿系ビーズ法ポリスチレンフォーム厚50の上 透湿系アクリルシリコン樹脂塗装 (外断熱工法)	土台水切・通気見切縁:アルミ押出成形品						
	布基礎	コンクリート打ち放し補修の上透湿系アクリルシリコン樹脂塗装 目地切り (タテW10 ※目地部はシーリング充填)							
	開口部	カラーステンレス製建具、アルミ建具 (電解二次着色)、鋼製建具DP塗、複層ガラス、網戸							
軒 天		木下地火山性ガラス質堆積物粉体混入ロックウール板厚12 化粧シート仕上							
樋	軒 樋	カラーガルバリウム鋼板製軒とい (200×143)							
	堅 樋	カラーガルバリウム鋼板製90φ							

略号	□ 塗装工事		□ 防水(シーリング)工事		□ 内装工事		ケイカル板(2) 吸音用穴あき繊維混入けい酸カルシウム板		GW グラスウールガラスクロス張り		人研 人造石研出し		工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	
	SOP	CL	OS	SR2	NC	GB-D	PF板	LGS	人研	現場テラ	図面名/縮尺	式場棟 外部仕上表		図面番号	
	合成樹脂調合ペイント塗り	クリアラッカー塗り	油性ステイン塗り	2成分形シリコーン系シーリング材	ビニル床シート	化粧石こうボード	ポリスチレンフォーム保温板	軽量鉄骨下地	現場テラ	現場テラ塗り	設計年月日	令和 4年 1月31日	A-015		
	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	耐水性塗料塗り	木材保護塗料塗り	2成分形ポリサルファイド系シーリング材	ビニル床タイル (半硬質)	化粧石こうボード	フレキシブルボード	コンクリートブロック	TB	テラブロック	設計者	一級建築士 (第273244号)			
	耐候性塗料塗り	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	マスチック塗材塗り	2成分形ポリウレタン系シーリング材	CT	不燃積層石こうボード (化粧無し:下地張用)	ロックウール化粧吸音板(フラット)	軽量気泡コンクリートパネル	VP	硬質塩化ビニール管	発注者	足利市都市建設部建築住宅課			
	EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント塗り		2成分形アクリルウレタン系シーリング材	CTS	不燃積層石こうボード (化粧有:トラバーチン模様)	ロックウール化粧吸音板(凸凹)	木造下地	HP	遠心力鉄筋コンクリート管					
	EP-T	合成樹脂エマルジョンペイント塗り		1成分形アクリルエマルジョン系シーリング材	HT	赤モジニアスビニル床タイル	ロックウール化粧吸音板(軒天用フラット)	M金コテ	SGP	配管用鋼管					
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り			VT(E)	帯電防止ビニル床タイル	ロックウール化粧吸音板(軒天用凸凹)	C金コテ	STK	構造用鋼管					
					WB	ビニル巾木	ロックウール化粧吸音板	G打放シ	GIP	亜鉛メッキ鋼管					

内部仕上表

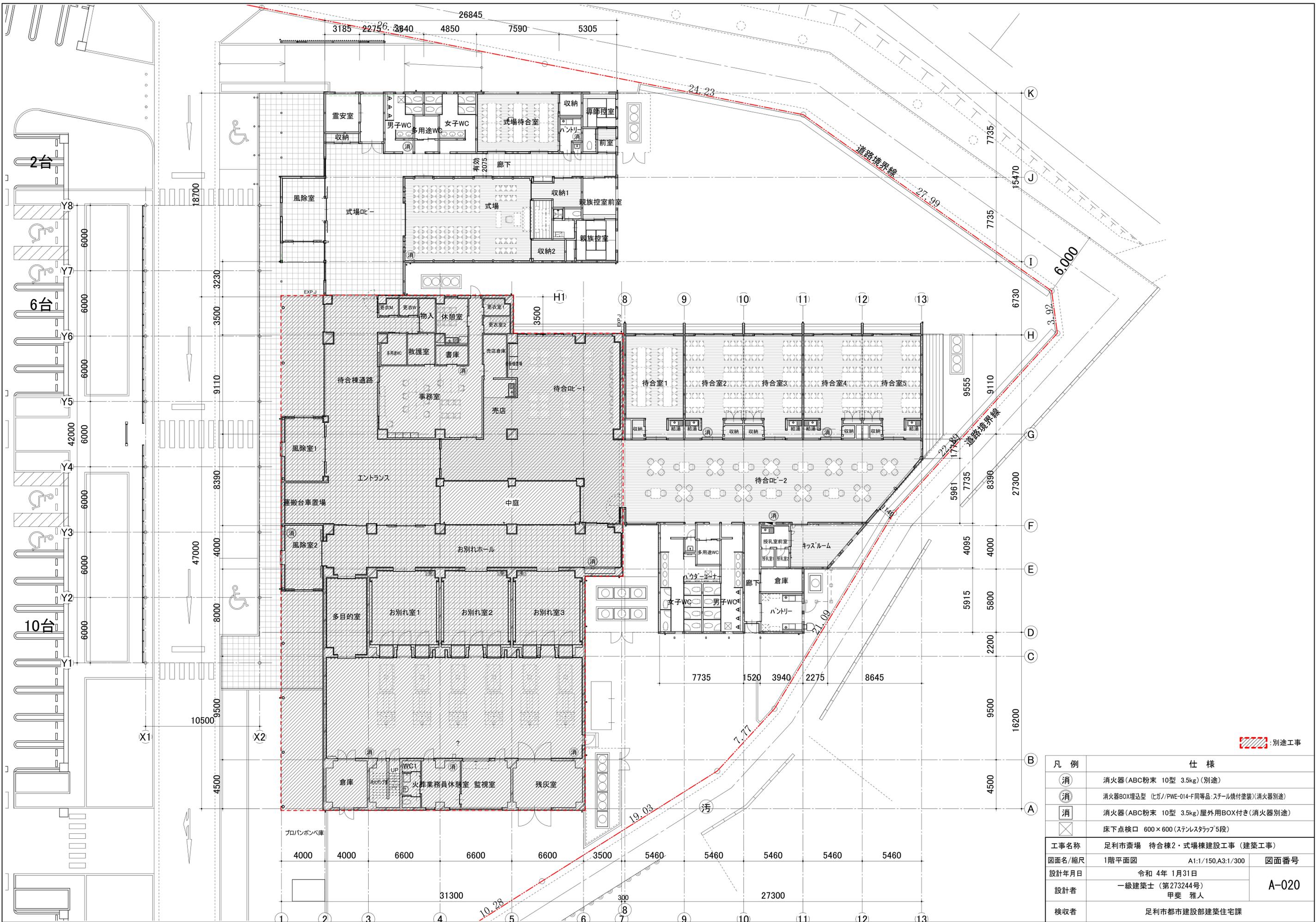
階	室名 法規制	天井高 床高	床	仕上 下地	巾木	腰壁	仕上 下地	壁	仕上 下地	廻縁	天井	仕上 下地	備考
1	風除室	2600 ±0	御影石厚25 ジェットバーナー仕上 モルタル木ごと		桧 厚15 OSCL H=60	壁に同じ		桧小幅板W45 t15 実加工 OSCL 木下地GB-R厚12.5+12.5		桧 30×30 OSCL	桧羽目板厚9 OSCL 木下地 GB-R厚9.5		ガードポールφ48.6×H850
	式場ロビー	2850~8970 ±0	御影石厚25 ジェットバーナー仕上 モルタル木ごと		桧 厚15 OSCL H=60	桧小幅板W45 t15 実加工 OSCL (FL+5080まで)		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		桧 30×30 OSCL	杉板厚18(本実加工) OSCL 木下地		見え掛かり部柱・梁: OSCL
	廊下	2800 ±0	御影石厚25 ジェットバーナー仕上 モルタル木ごと		桧 厚15 OSCL H=60	壁に同じ		桧小幅板W45 t15 実加工 OSCL 木下地GB-R厚12.5+12.5		桧 30×30 OSCL	DR厚9 木下地GB-R厚9.5		
	式場	5930~7030 ±0	カバ フローリング厚15UC モルタル金ごと		桧 厚15 OSCL H=60	桧小幅板W45 t15 実加工 OSCL (FL+3860まで)		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		桧 30×30 OSCL	杉板厚18(本実加工) OSCL 木下地		見え掛かり部柱・梁: OSCL
	式場(祭壇置場)	3500 +300	カバ フローリング厚15UC 乾式二重床下地、パ・テイク・ド 厚20		桧 厚15 OSCL H=60	壁に同じ		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		桧 30×30 OSCL	杉板厚18(本実加工) OSCL 木下地		
	式場収納1	3800 ±0	カバ フローリング厚15UC モルタル金ごと		桧 厚15 OSCL H=60	壁に同じ		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		
	式場収納2	3800 ±0	カバ フローリング厚15UC モルタル金ごと		桧 厚15 OSCL H=60	壁に同じ		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		
	式場ロビー収納	2400 ±0	御影石厚25 ジェットバーナー仕上 モルタル木ごと		桧 厚15 OSCL H=60	壁に同じ		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		
	霊安室	2400 ±0	ビニルシート厚2.5 コンクリート金ごと		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		
	前室	2400 ±0	ビニルシート厚2.5 コンクリート金ごと		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		EP 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		
	式場待合室	2600~2950 ±0	カバ フローリング厚15UC モルタル金ごと		桧 厚15 OSCL H=60	壁に同じ		桧小幅板W45 t15 実加工 OSCL 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	DR厚9(CH2600部) 木下地GB-R厚9.5	EP(折上天井部)	折上天井見切: ボンデ鋼板厚0.8 曲げ加工 SOP カーテンボックス: 桧集成材厚25 120×120 OSCL ロールスクリーン
	式場待合室収納	2600 ±0	ビニルシート厚2.5 コンクリート金ごと		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		ビニルクロス 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		
	パントリー (火気使用無し)	2600 ±0	ビニルシート厚2.5 コンクリート金ごと		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		ビニルクロス 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		ライニング甲板: メラミンポストフォーム厚20 1槽シユ=1200、作業台L=600、吊戸棚 (機械設備工事)
	S K	2600 ±0	ビニルシート厚2.5 コンクリート金ごと		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		化粧珪藻土厚6.0 木下地GB-S厚12.5		塩ビ製 目透し型	GB-D厚9.5 木下地		ライニング甲板: メラミンポストフォーム厚20
	導師控室	2500 +100	スタイロ厚60 木下地、構造用合板厚9 複合フローリング厚12.0(塗装品) 木下地、構造用合板厚12		畳寄せ	壁に同じ		ビニルクロス 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB(W)厚9.5 木下地		
	導師控室前室	2600,2500 ±0,+100	ビニルシート厚2.5 コンクリート金ごと 複合フローリング厚12.0(塗装品) 木下地、構造用合板厚12		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		ビニルクロス 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	ビニルクロス 木下地+GB-R厚9.5		
	導師控室WC	2500 +100	ビニルシート厚2.5 乾式二重床下地、構造用合板厚12		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		ビニルクロス 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	ビニルクロス 木下地+GB-R厚9.5		タオル掛け
	親族控室前室	2600,2500 ±0,+100	ビニルシート厚2.5 コンクリート金ごと 複合フローリング厚12.0(塗装品) 木下地、構造用合板厚12		ビニル巾木 H=60	壁に同じ		ビニルクロス 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	ビニルクロス 木下地+GB-R厚9.5		カーテンボックス: 桧集成材厚25 120×120 OSCL ロールスクリーン
	親族控室	2500 +100	スタイロ厚60 木下地、構造用合板厚9		畳寄せ	壁に同じ		ビニルクロス 木下地GB-R厚12.5+12.5		塩ビ製 目透し型	GB(W)厚9.5 木下地		カーテンボックス: 桧集成材厚25 120×120 OSCL ロールスクリーン
	親族控室収納	2500 +100	ラワン合板厚9.0 木下地		雑巾摺	壁に同じ		GB-D厚9.5(押入ボード) 木下地GB-R12.5		塩ビ製 目透し型	GB(W)厚9.5 木下地		中段、天袋

略号	□ 塗装工事	OS 油性ステイン塗り	SR2 2成分シリコーン系シーリング材	NC ビニル床シート	GB-D 化粧石こうボード	ケイカル板 <sup>(P)</sup> 吸音用穴あき繊維混入けい酸カルシウム板	GW グラスウールガラスクロス張り	人研 人造石出し	工事名称 足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)		
	SOP 合成樹脂調合ペイント塗り	WP 木材保護塗料塗り	PS2 2成分ポリサルファイド系シーリング材	CT ビニル床タイル (半硬質)	吸音 化粧石こう吸音ボード	PF板 ポリスチレンフォーム保温板	LGS 軽量鉄骨下地	現テラ 現場テラソ塗り		図面名/縮尺 式場棟 内部仕上表 (1)	
	CL クリアラッカー塗り	マフク マスチック塗材塗り	MS2 2成分変性シリコーン系シーリング材	CTS ビニル床タイル (軟質)	GB(N) 不燃積層石こうボード (化粧無し: 下地専用)	フレキ板 フレキシブルボード	CB コンクリートブロック	TB テラソブロック			図面番号 A-016
	NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		UA2 2成分ポリウレタン系シーリング材	HT ホモジニアスビニル床タイル	GB(NC) 不燃積層石こうボード (化粧有: トラバーチン模様)	DR ロックウール化粧吸音板(フラット)	ALC 軽量気泡コンクリートパネル	VP 硬質塩化ビニール管			
	DP 耐候性塗料塗り		AC1 1成分アクリルエマルジョン系シーリング材	VT(E) 帯電防止ビニル床タイル	GB(W) 化粧石こうボード (木目)	DR(凸凹) ロックウール化粧吸音板(凸凹)	W 木造下地	HP 遠心力鉄筋コンクリート管			
EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り			VB ビニル巾木	GB-S シーリング石こうボード	DR(軒天) ロックウール化粧吸音板(軒天用フラット)	M金コテ モルタル金コテ押え	SGP 配管用鋼管				
EP-E 合成樹脂エマルジョンペイント塗り			WB 木製巾木	GB-F 強化石こうボード	DR(軒天) ロックウール化粧吸音板(軒天用凸凹)	C金コテ コンクリート金コテ押え	STK 構造用鋼管	設計年月日 令和 4年 1月31日			
EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り			GB-R 石こうボード	ケイカル板 繊維混入けい酸カルシウム板	RW ロックウールガラスクロス張り	C打放シ コンクリート打放し	GIP 亜鉛メッキ鋼管		設計者 一級建築士 (第273244号) 伊斐 雅人		
UC ウレタン樹脂ワニス塗り										発注者 足利市都市建設部建築住宅課	

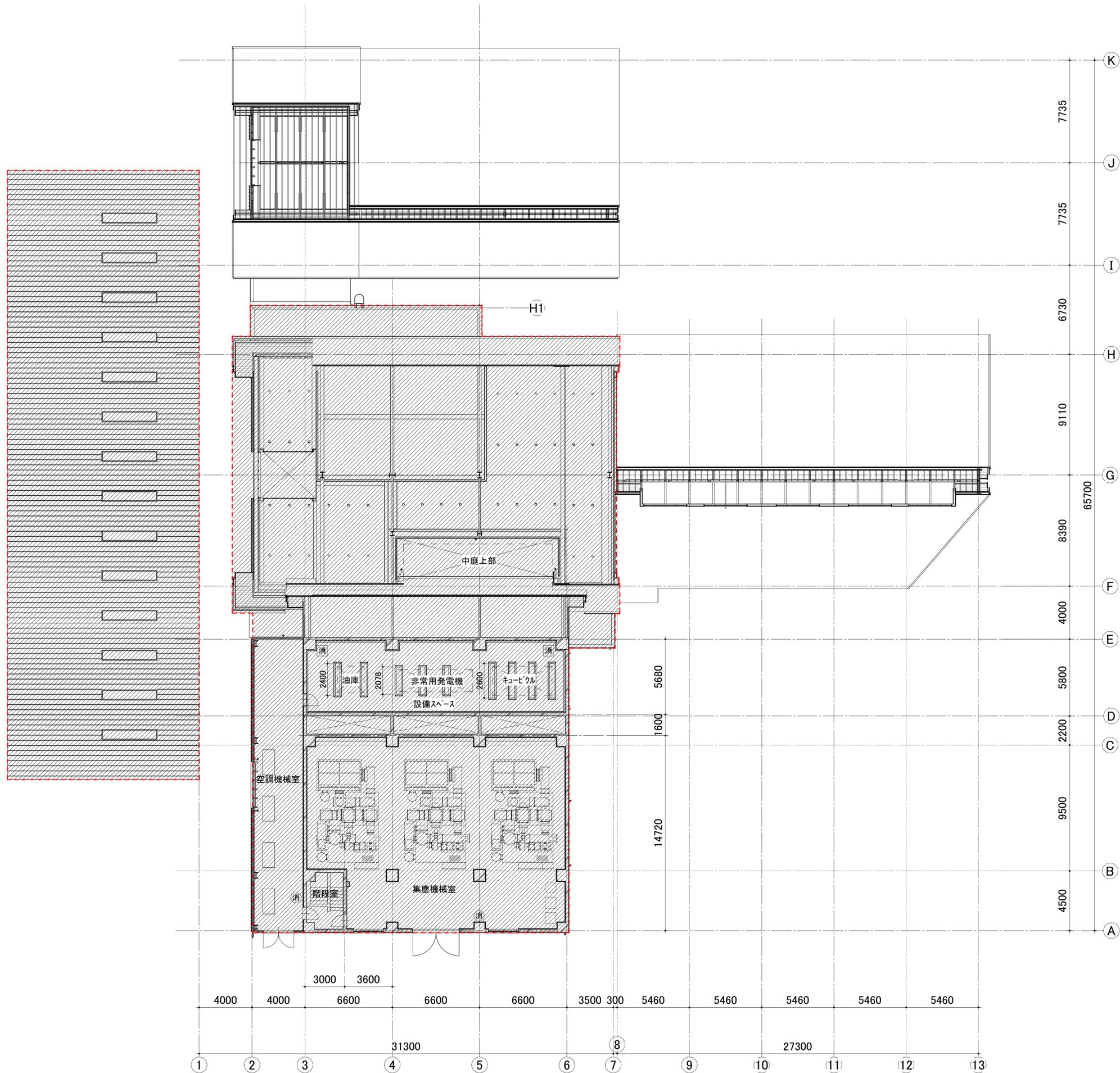






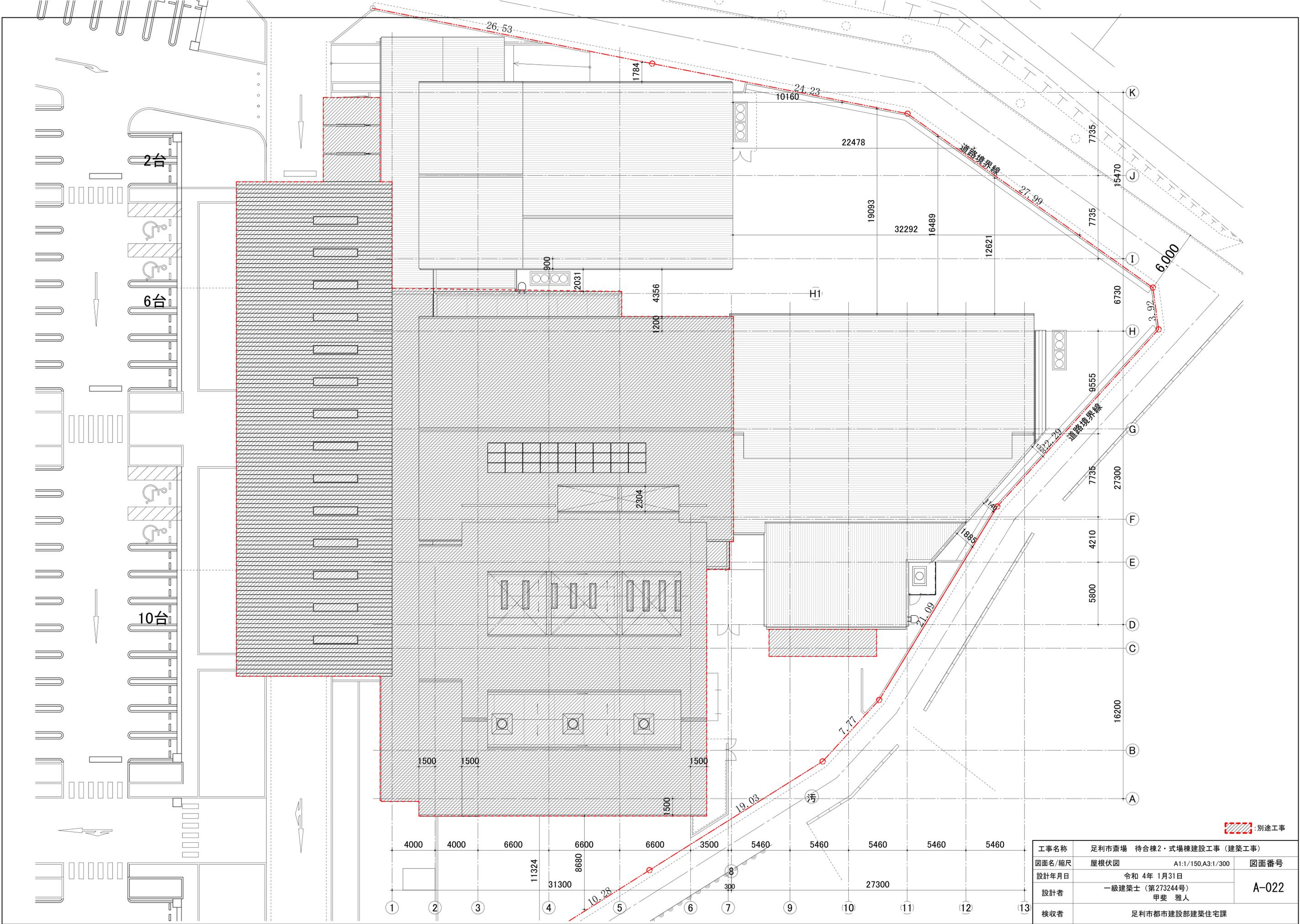


凡例	仕様
消	消火器(ABC粉末 10型 3.5kg)(別途)
消	消火器BOX埋込型 (七ガ/PWE-014-F同等品:スチール焼付塗装)(消火器別途)
消	消火器(ABC粉末 10型 3.5kg)屋外用BOX付き(消火器別途)
⊠	床下点検口 600×600(ステンスタップ5段)
<b>工事名称</b> 足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	
<b>図面名/縮尺</b> 1階平面図 A1:1/150,A3:1/300	
<b>設計年月日</b> 令和 4年 1月31日	
<b>設計者</b> 一級建築士 (第273244号) 甲斐 雅人	
<b>図面番号</b> A-020	
<b>検取者</b> 足利市都市建設部建築住宅課	



: 別途工事

凡例	仕様	
	消火器(ABC粉末 10型 3.5kg) (別途)	
	消火器BOX埋込型 (七ガ/PWE-014-F同等品:スチール焼付塗装)(消火器別途)	
	消火器(ABC粉末 10型 3.5kg) 屋外用BOX付き(消火器別途)	
	床下点検口 600×600(ステンスタップ5段)	
工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	
図面名/縮尺	2階平面図 A1:1/150,A3:1/300	図面番号
設計年月日	令和 4年 1月31日	A-021
設計者	一級建築士 (第273244号) 甲斐 雅人	
検取者	足利市都市建設部建築住宅課	



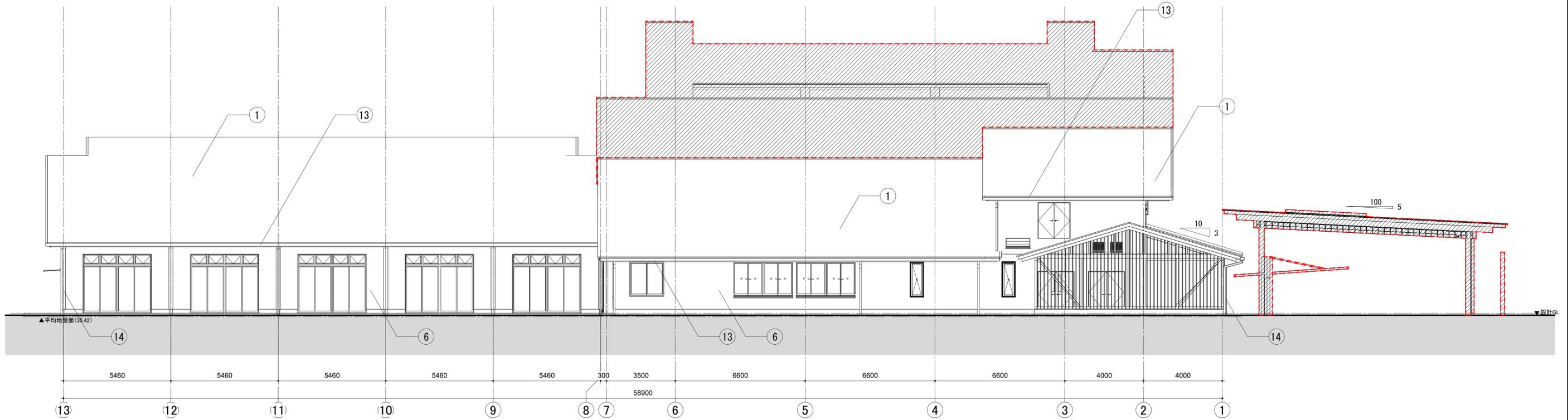
2台

6台

10台

別途工事

工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	
図面名/縮尺	屋根伏図 A1:1/150,A3:1/300	図面番号
設計年月日	令和 4年 1月31日	A-022
設計者	一級建築士 (第273244号) 甲斐 雅人	
検取者	足利市都市建設部建築住宅課	



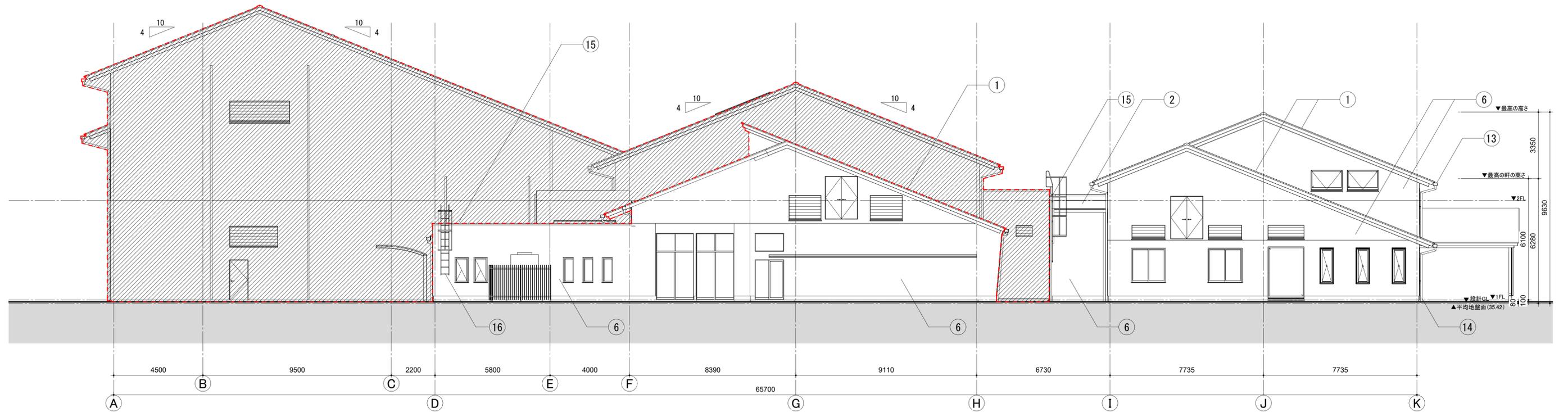
北立面図 1:100



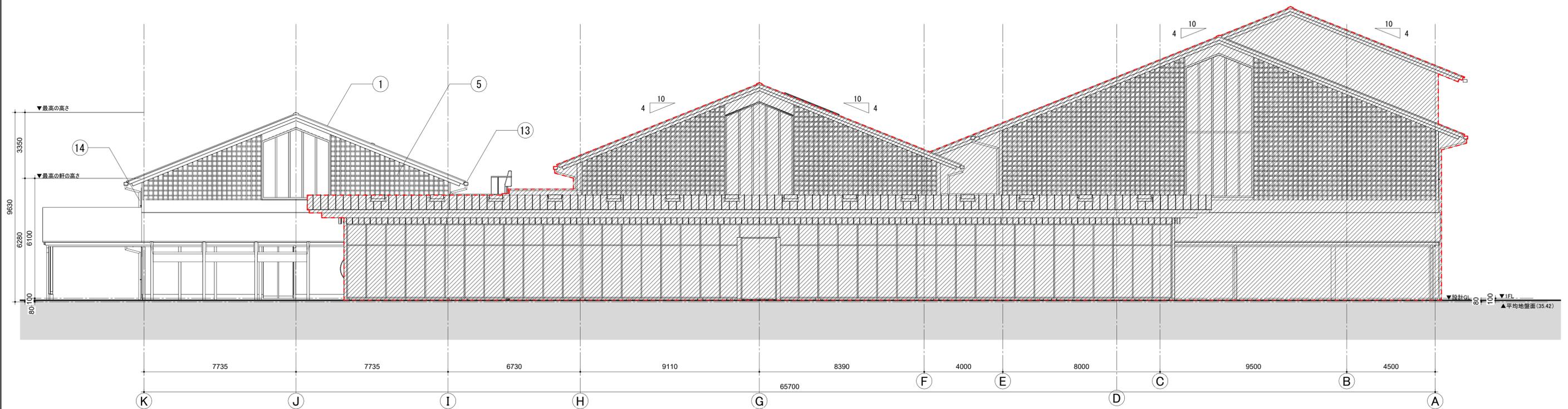
南立面図 1:100

別途工事

凡例	①	屋根A	構造用合板厚12下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 段葺(遮音仕様)	⑥	外壁D	透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(外断熱工法)(北・東・南面)	⑪	外壁③	コンクリート打放補修下地 透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(外断熱工法)	⑯	タラップ	SUS製タラップ(背かご付)	工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事(建築工事)	
	②	屋根B	構造用合板厚12下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 立ハゼ葺(遮音仕様)	⑦	屋根①	耐火野地板厚18下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 段葺(遮音仕様)	⑫	外壁④	押出成形セメント板厚60下地 透湿系アクリルシリコン樹脂塗装	⑰			図面名/縮尺	立面図(1) A1:1/100,A3:1/200	図面番号
	③	外壁A	窯業系ペーシングの上二丁掛タイル張(乾式工法)(風除室外壁)	⑧	屋根②	75防水防水A1-2 断熱材厚35の上押えコンクリート厚80~130金ごて	⑬	軒樋	カラーガルバリウム鋼板製軒(200×143)	⑱			設計年月日	令和4年1月31日	A-023
	④	外壁B	窯業系ペーシングの上二丁掛タイル張(乾式工法)(西妻面 下屋根下)	⑨	外壁①	コンクリート打放,鋼製鋼線・レール下地二丁掛タイル張(外断熱通気工法)	⑭	壁樋	カラーガルバリウム鋼板製90φ	⑲			設計者	一級建築士(第273244号) 甲斐 雅人	
	⑤	外壁C	窯業系ペーシングの上透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(西妻面下屋上部)	⑩	外壁②	押出成形セメント板厚60,鋼製鋼線・レール下地二丁掛タイル張(乾式工法)	⑮	笠木	アルミ製(電解着色)	⑳			検取者	足利市都市建設部建築住宅課	



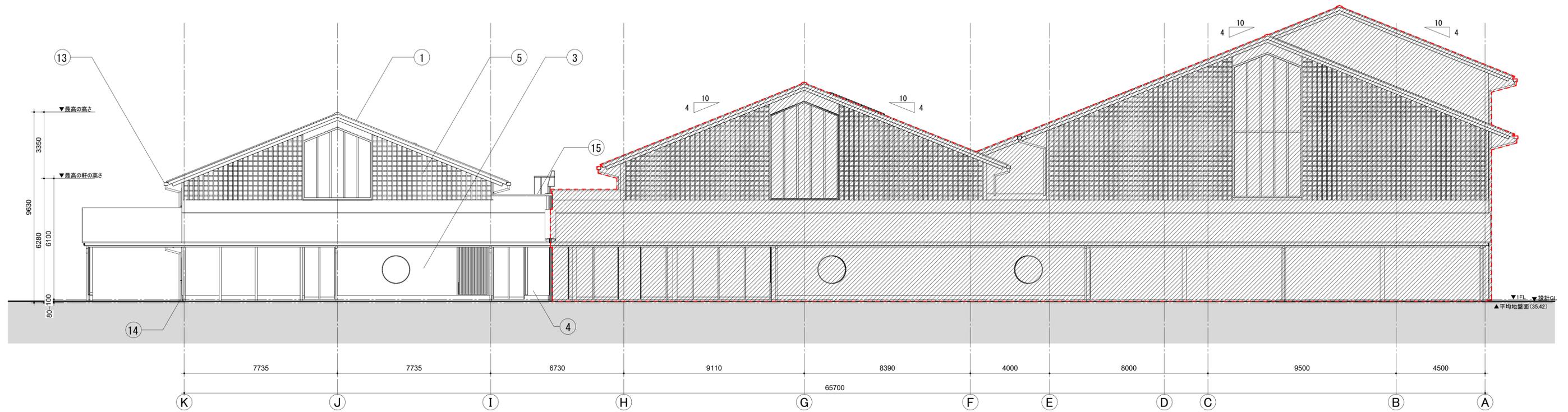
東立面図 1:100



西立面図 1:100

別途工事

凡例	屋根		外壁		外壁		タラップ		工事名称	図面名/縮尺		図面番号
	①	②	⑥	⑦	⑪	⑫	⑬	⑭	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	立面図 (2)	A1:1/100,A3:1/200	
	③	④	⑧	⑨	⑩	⑫	⑬	⑭		設計年月日	令和 4年 1月31日	A-024
	⑤		⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	設計者	一級建築士 (第273244号) 甲斐 雅人		
			⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	検取者	足利市都市建設部建築住宅課		



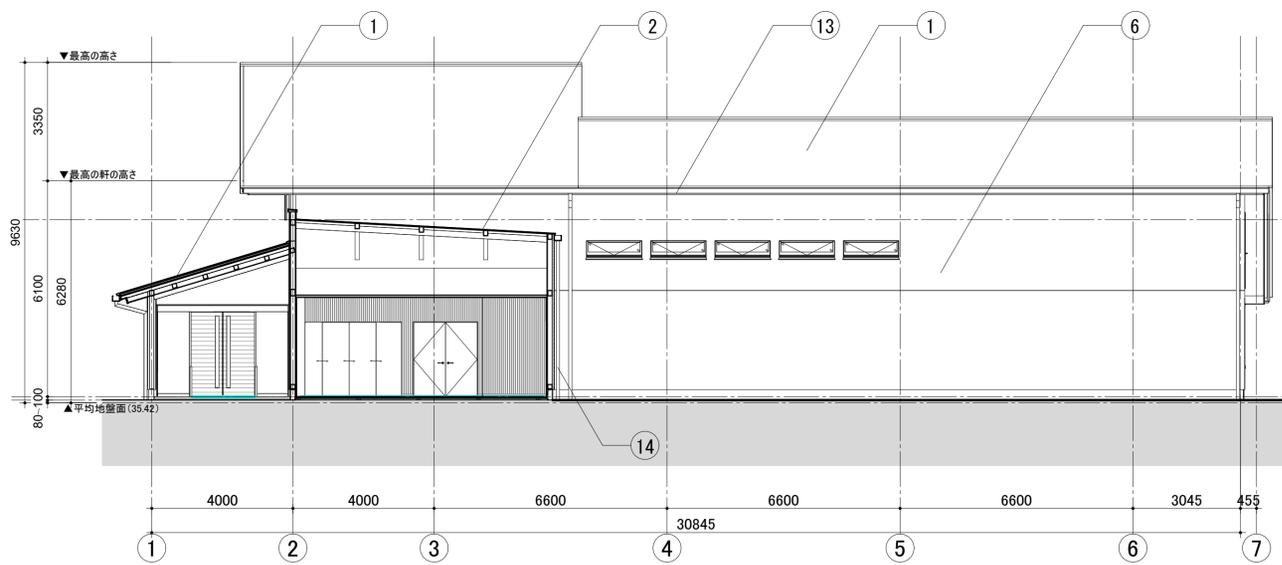
斎場西立面図(車寄せ除く)



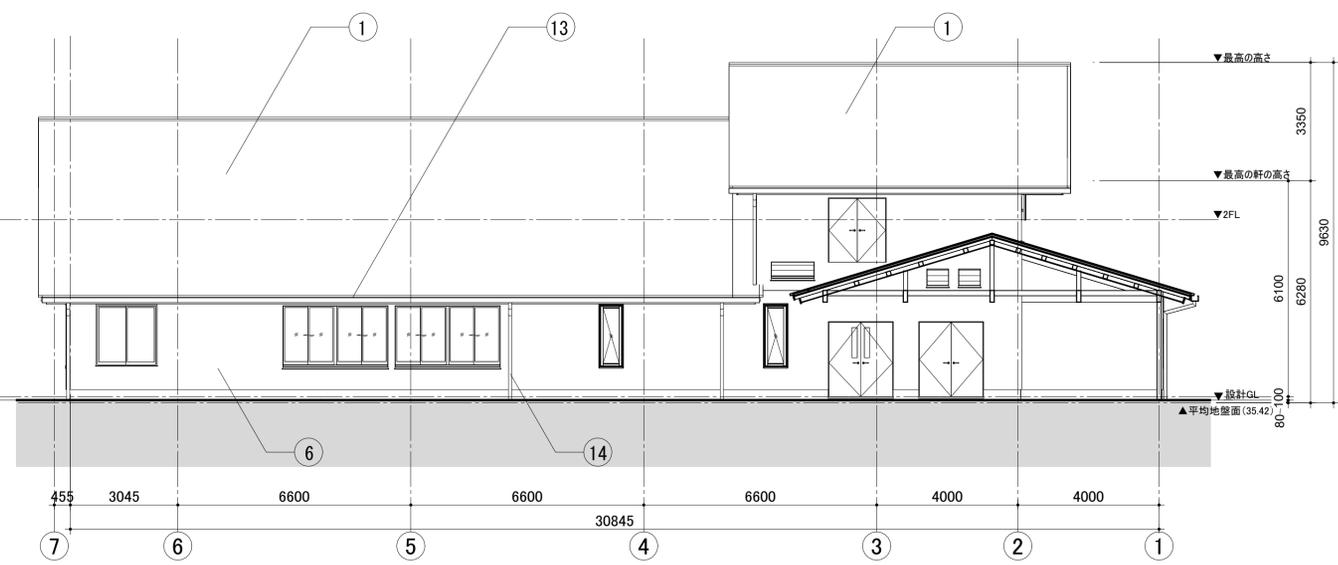
火葬棟・待合棟1北立面

別途工事

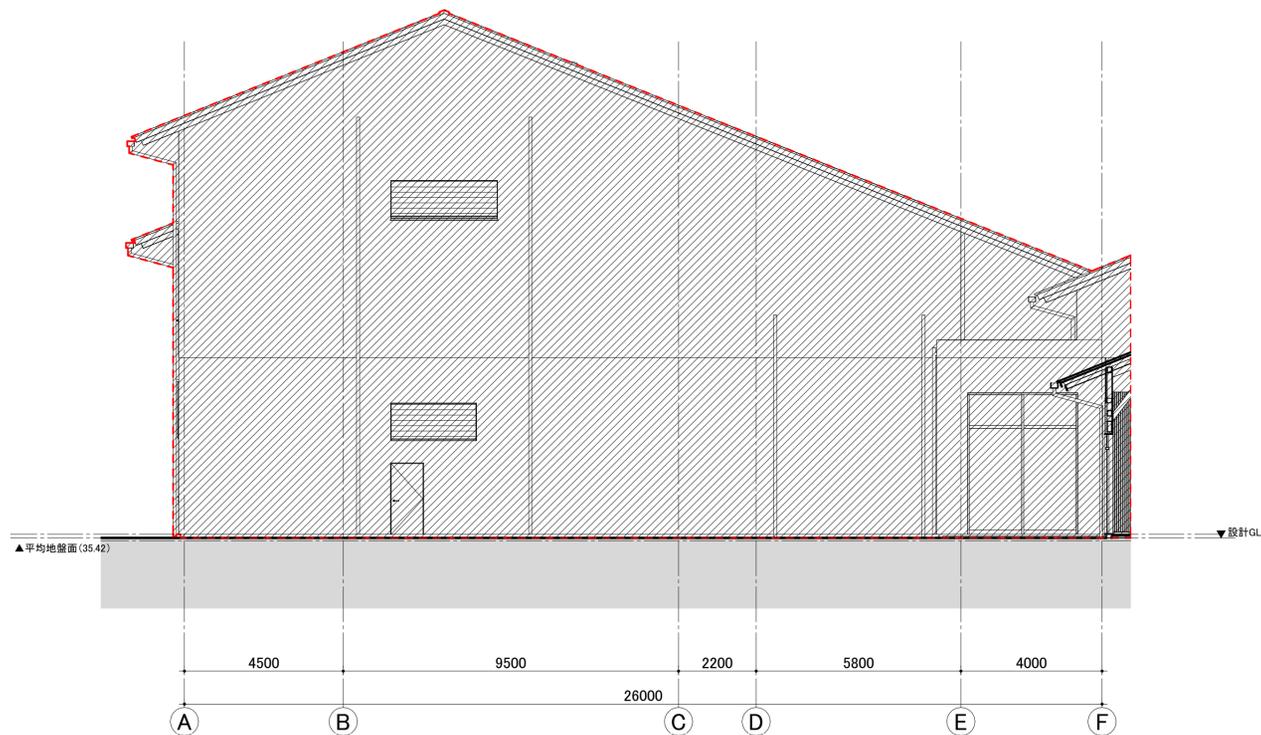
凡例	①	屋根A	構造用合板厚12下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 段葺(遮音仕様)	⑥	外壁D	透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(外断熱工法)(北・東・南面)	⑪	外壁③	コンクリート打放補修下地 透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(外断熱工法)	⑯	タラップ	SUS製タラップ(背かご付)	工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事(建築工事)		
	②	屋根B	構造用合板厚12下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 立ハゼ葺(遮音仕様)	⑦	屋根①	耐火野地板厚18下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 段葺(遮音仕様)	⑫	外壁④	押出成形セメント板厚60下地 透湿系アクリルシリコン樹脂塗装	⑰			図面名/縮尺	立面図(3)	A1:1/100,A3:1/200	図面番号
	③	外壁A	窯業系ペーシングの上二丁掛タイル張(乾式工法)(風除室外壁)	⑧	屋根②	75防水A1-2 断熱材厚35の上押えコンクリート厚80~130金ごて	⑬	軒樋	カラーガルバリウム鋼板製軒とい(200×143)	⑱			設計年月日	令和4年1月31日	A-025	
	④	外壁B	窯業系ペーシングの上二丁掛タイル張(乾式工法)(西妻面 下屋根下)	⑨	外壁①	コンクリート打放,鋼製鋼線・レール下地二丁掛タイル張(外断熱通気工法)	⑭	壁樋	カラーガルバリウム鋼板製90φ	⑲			設計者	一級建築士(第273244号) 甲斐 雅人		
	⑤	外壁C	窯業系ペーシングの上透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(西妻面下屋上部)	⑩	外壁②	押出成形セメント板厚60,鋼製鋼線・レール下地二丁掛タイル張(乾式工法)	⑮	笠木	アルミ製(電解着色)	⑳			検取者	足利市都市建設部建築住宅課		



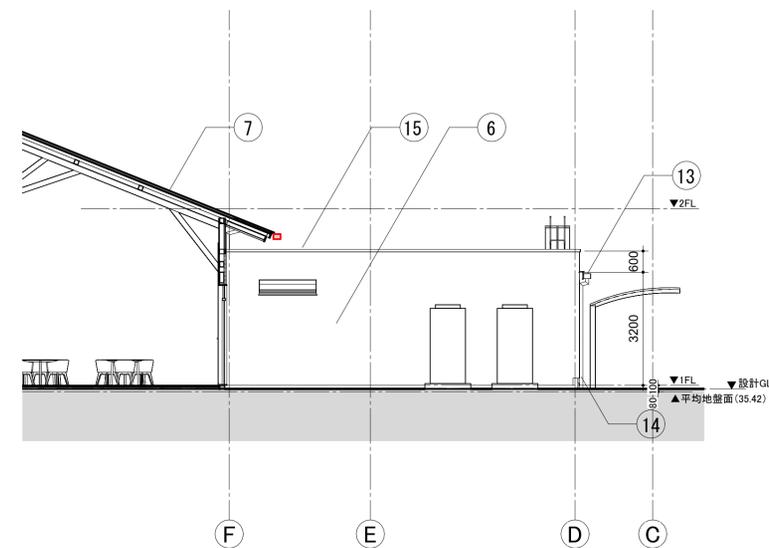
式場棟南立面図 1:100



式場棟北立面図 1:100



火葬棟東立面 1:100

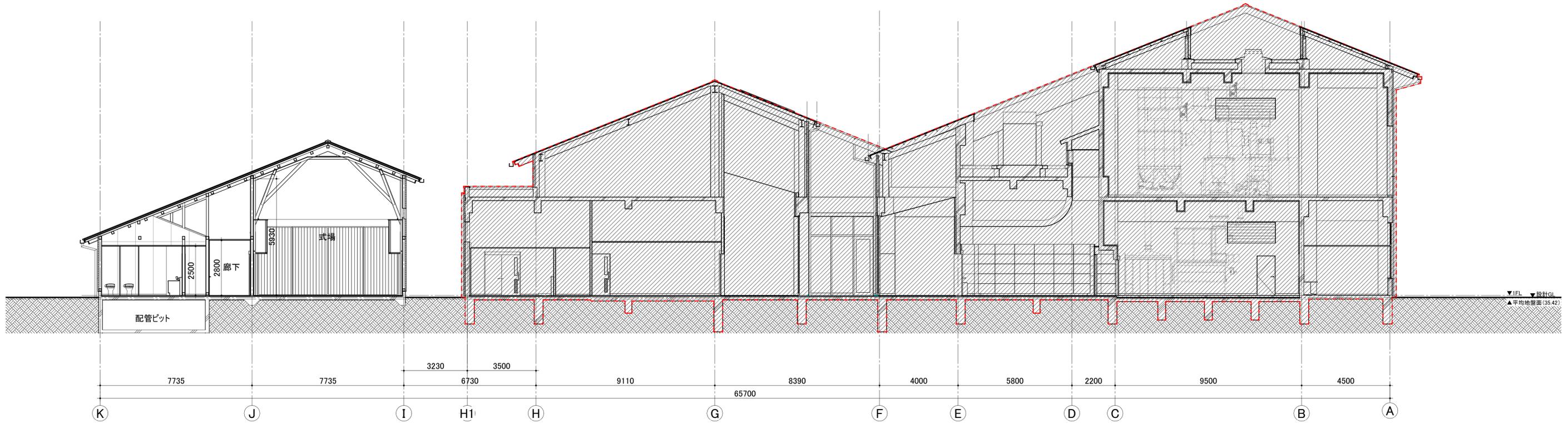


待合棟WC西立面 1:100

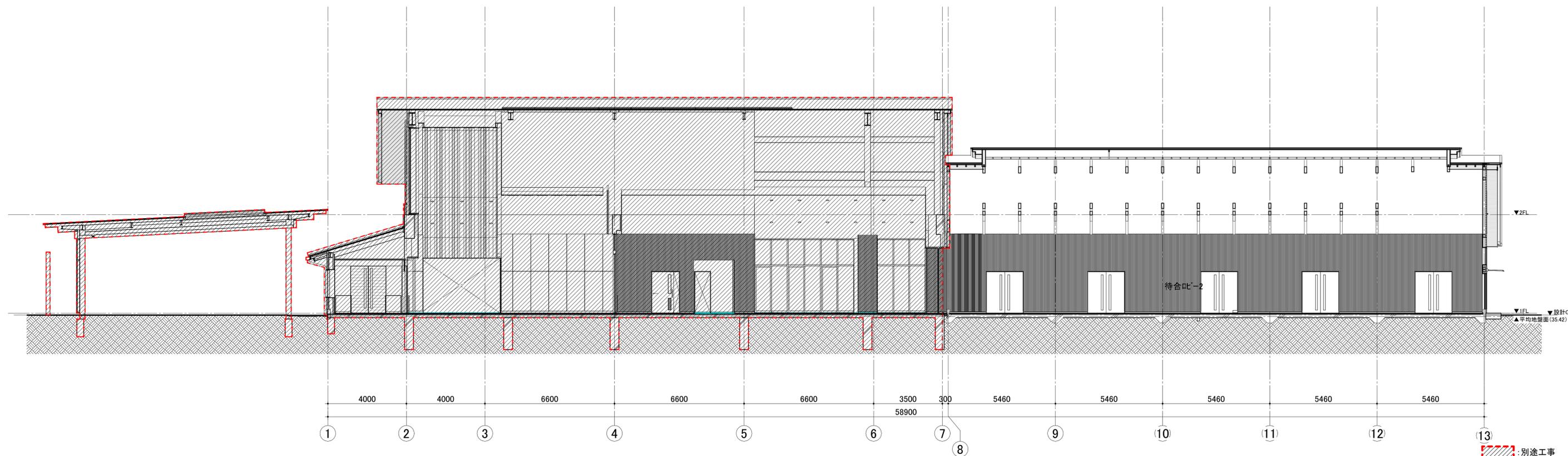
凡例	①	屋根A	構造用合板厚12下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 段葺(遮音仕様)	⑥	外壁D	透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(外断熱工法)(北・東・南面)	⑪	外壁③	コンクリート打放補修下地 透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(外断熱工法)	⑯	タラップ	SUS製タラップ(背かご付)
	②	屋根B	構造用合板厚12下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 立ハゼ葺(遮音仕様)	⑦	屋根①	耐火野地板厚18下地カラーガルバリウム鋼板厚0.4 段葺(遮音仕様)	⑫	外壁④	押出成形セメント板厚60下地 透湿系アクリルシリコン樹脂塗装	⑰		
	③	外壁A	窯業系ペーシングの上二丁掛タイル張(乾式工法)(風除室外壁)	⑧	屋根②	757防水A I-2 断熱材厚35の上押えコンクリート厚80~130金ごて	⑬	軒樋	カラーガルバリウム鋼板製軒とい(200×143)	⑱		
	④	外壁B	窯業系ペーシングの上二丁掛タイル張(乾式工法)(西妻面 下屋根下)	⑨	外壁①	コンクリート打放, 鋼製鋼線・レール下地二丁掛タイル張(外断熱通気工法)	⑭	壁樋	カラーガルバリウム鋼板製90φ	⑲		
	⑤	外壁C	窯業系ペーシングの上透湿系アクリルシリコン樹脂塗装(西妻面下屋上部)	⑩	外壁②	押出成形セメント板厚60, 鋼製鋼線・レール下地二丁掛タイル張(乾式工法)	⑮	笠木	アルミ製(電解着色)	⑳		

工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事(建築工事)	
図面名/縮尺	立面図(4) A1:1/100,A3:1/200	図面番号
設計年月日	令和4年1月31日	A-026
設計者	一級建築士(第273244号) 甲斐 雅人	
検取者	足利市都市建設部建築住宅課	

別途工事



断面図1



断面図2

別途工事

工事名称	足利市斎場 待合棟2・式場棟建設工事 (建築工事)	
図面名/縮尺	断面図 (1)	A1:1/100,A3:1/200
設計年月日	令和 4年 1月31日	図面番号 <b>A-027</b>
設計者	一級建築士 (第273244号) 甲斐 雅人	
検取者	足利市都市建設部建築住宅課	